

ク ラ ス		受験番号	
出席番号		氏 名	

2014年度 第2回 全統記述模試

学 習 の 手 引 き 【解答・解説集】

# 英 語

【2014年 8 月実施】

本冊子巻末に「自己採点シート」と「学力アップ・志望校合格のための復習法」を掲載していますので、志望校合格へむけた効果的な復習のためにご活用ください。

## 河合塾



1461220119502030



## 【英 語】

### 「学習の手引き」を読むにあたって

この「学習の手引き」には、問題の解説は言うまでもなく、その問題のねらい、さらには今後の学習に役立つ指針が書かれています。この「学習の手引き」をじっくり読むことで、十分な復習をして、入試対策に万全を期してください。

### 1. 星印について

星印は、入試のレベルから見た場合に、それぞれの出題テーマ・設問形式において、どの程度の頻度と難易度の問題であるかを大まかに示しています。学習の目安にしてください。

- ★☆☆ 基本 難易度が低く、基礎的な内容の問題。
- ★★☆ 標準 難易度が標準的で、重要度が最も高い問題。
- ★★★ 発展 難易度が高く、応用的な内容を含む問題。

### 2. 解説について

【ポイント】 正答を得るための鍵となる知識や着眼点を示します。

- ▶ 追加・補足的な解説を示しています。
- ▷ 誤った解答と、それがなぜ間違っているかを示しています。

**file** 理解しておきたい文法・構文のワンポイント解説や、語い・熟語・語法に関する知識のまとめです。

【本文解説】 長文総合問題での英文本体の文ごとの解説です。1), 2), 3) ... は文番号を示します。

### 3. 「学習の手引き」で用いた略号

S	主語(原則として名詞)
V	動詞
O(O <sub>1</sub> / O <sub>2</sub> )	目的語(原則として名詞)
C	補語(原則として名詞・形容詞・分詞)
A	前置詞の目的語
X / Y	成句の表現で共通関係にある要素
one's	人称代名詞の所有格
to do	to 不定詞
do	原形動詞・原形不定詞
doing	現在分詞もしくは動名詞
done	過去分詞
does	現在形
did	過去形
have done	完了形
that 節	接続詞 that によって導かれる節
wh-節	when / where / why / how / whether などに導かれる節
[ ]	言い換えることができる語句
( )	省略することができる語句
/	語句・訳語などの列挙

## 1 Listening Comprehension

### 【2との選択問題】

#### 【解答】

1. (C) 2. (B) 3. (D) 4. (A) 5. (C)

【配点】(15点)

各3点×5

【出典】www.history.com (October 23, 2013)

#### 【放送された英文と訳】

1) Bobbing for apples has been an autumn tradition for hundreds of years. 2) Despite its presence at Halloween parties and festivals today, however, its origins are more rooted in love and romance than in tricks and treats. 3) In fact, it began as a British courting ritual, popular among young ladies and their potential boyfriends. 4) There were several variations of the game: in one set of rules, each apple was marked with the name of a young man. 5) The young lady would then attempt to bite into the apple named for the young man she desired. 6) If it only took her one try, they were destined for romance. 7) If she succeeded with her second attempt, they would become romantically involved but their love would not last long. 8) If it took three tries, the two young people would never be more than good friends. 9) Another approach to the game was a race to be the first to bite an apple; the first to succeed would be the first to marry. 10) A related superstition suggested that if a girl put the apple she had bitten underneath her pillow, she would see her future husband in her dreams that night.

11) Eventually, the game declined in popularity, and by the 1800s, it was common only in Ireland and certain areas of England. 12) At the end of the century, though, Americans exploring their immigrant roots decided to bring back this Celtic autumn tradition as a game for both children and adults at Halloween parties. 13) Today, some parents may keep their kids away from the tub of apples for fear of spreading germs, but bobbing for apples is a comparatively safe tradition when com-

pared to another old Halloween pastime involving apples: Snap Apple. 14) In the game of Snap Apple, an apple was fixed on one end of a stick while a lit candle was attached to the other end. 15) The stick was made to spin round and round, and the participants' goal was to take a bite of the apple, avoiding a face full of hot candle wax — definitely not a game to play with kids!

1) 水に浮かべたリンゴをぱくりと口でくわえるゲームは何百年も続いている秋の伝統行事である。2) しかしながら、ハロウィーンのパーティーやお祭りで行われているにもかかわらず、その起源はイタズラやお菓子よりもむしろ恋愛の方にある。3) 事実、それは英国の求愛のしきたりとして始まり、若い女性たちとその恋人となる可能性のある男性たちの間でよく行われていた。4) このゲームにはいくつかのバリエーションがあったが、その中の1つのルールでは、ひとつひとつのリンゴに若い男性の名前が記された。5) そして、若い女性は自分がいいなと思う若者の名前の付いたリンゴをくわえようとする。6) たった1回でうまくいけば、2人は恋人となる運命にある。7) 2回目の試みでうまくいけば、2人は恋愛関係にはなるが、その愛は長続きしない。8) もし3回目の試みでやっと成功するようであれば、2人は友達以上の関係にはならない。9) このゲームのもう1つのやり方は、リンゴを誰が1番先にくわえられるかという競争で、最初にうまくできた人が最初に結婚することになる。10) これに関連するある迷信では、女性が自分のかじったリンゴを枕の下に入れて眠ると、その夜、未来の夫を夢に見ることになる。

11) 結局、このゲームはすたれていき、1800年代には、アイルランドとイングランドの一部の地域だけで行われるものになった。12) ところが、19世紀の終わりに、自分たちの移民としてのルーツを調べていたアメリカ人たちが、ハロウィーンのパーティーで子どもも大人も共に楽しめるゲームとして、このケルト文化にあった秋の伝統行事を復活させることにした。13) 今日、親の中には、ばい菌が広がることを恐れて、自分の子どもをリンゴの入った桶に近づかせないようにする人もいるが、リンゴを使ったハロウィーンのもう1つの古い娯楽であるスナップアップルと比較

すると、リングかじりゲームはより安全な伝統行事だと言える。14) スナップアップルのゲームでは、1本の棒の端にリングが1個固定され、もう一方の端には火の点いたロウソクが取り付けられる。15) その棒がグルグルと回されて、参加者たちが目指すのは、顔がロウソクの熱いロウまみれになるのを避けながら、リングをひとかじりすることだ——これは子どもたちと遊べるゲームでは絶対ない！

### 【語句・表現】

- bob for apples 「(水に浮かべた)リングをばくりとくわえようとする」
- tradition 「伝統行事」
- hundreds of A 「何百ものA」
- presence 「存在(すること)」
- festival 「祭り」
- origin 「起源、始まり」
- be rooted in A 「Aに起源がある」
- romance 「恋愛」
- tricks and treats 「イタズラとご馳走」(ハロウィーンで、子どもたちが“Trick or treat!”「お菓子をくれなきゃイタズラするぞ!」と言いながら近所の家々をまわる習慣のことを言っている)
- in fact 「事実、実際」
- court 「求愛する」
- ritual 「儀式、しきたり」
- potential 「将来…になりそうな(人[もの])」
- variation 「バリエーション、変種」
- a set of rules 「一連のルール」
- mark O with A 「OにA(名前・記号など)を付ける」
- attempt to do 「…しようと試みる」
- bite into A 「Aをかじる、くわえる」
- desire O 「Oを強く求める」
- be destined for A 「Aに向かう運命である」
- become romantically involved 「恋愛関係になる」
- last 「続く」
- approach to A 「Aへの取り組み方」
- race to do 「…する競争」
- the first to do 「最初に…する人[もの]」
- related 「関連した」
- superstition 「迷信」
- suggest that ... 「…ということを示唆する」
- underneath A 「Aの下に」

- pillow 「枕」
- eventually 「結局(は)」
- decline in A 「Aが低下する」
- certain 「特定の」
- explore O 「Oを調べる、探検する」
- immigrant 「移民(の)」
- roots 「(人・事物の)ルーツ、出自」
- bring O back / bring back O 「Oを復活させる」
- Celtic 「ケルト文化の、ケルト人[語]の」
- keep O away from A 「OをAから遠ざけておく」
- tub 「桶、たらい」
- for fear of doing 「…することを恐れて」
- spread O 「Oを広める」
- germ 「ばい菌、細菌」
- comparatively 「比較的(に)」
- compare O to A 「OをAと比べる」
- pastime 「娯楽、気晴らし」
- involve O 「Oを伴う、含む」
- fix O on A 「OをAに固定する」
- lit 「火の点いた」
- candle 「ロウソク」
- attach O to A 「OをAに取り付ける」
- be made to do 「…させられる」
- spin 「回転する」
- round and round 「グルグルと」
- participant 「参加者」
- take a bite of A 「Aをひとかじりする」
- wax 「ロウ、ワックス」
- definitely not A 「絶対にAでない」

### 【設問別解説】

1. ★★☆☆

### 【放送された質問文と訳】

If a girl succeeded in biting into an apple on her third try, what did it mean?  
もし女性が3回目の試みでリングをうまくくわえたら、それはどういうことを意味したか。

### 【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) すべての女性の中で最も早く結婚する。
- (B) 彼女の愛は長く続く可能性が高い。
- (C) その男性と恋愛が始まる望みはない。
- (D) 彼女の愛はもっと情熱的になる。

第8)文の内容より、(C)が正解。

2. ★☆☆

【放送された質問文と訳】

In order to dream of her future husband, where should a girl put her bitten apple?

未来の夫の夢を見るためには、女性はかじったりんごをどこに置くとよいか。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) ベッドの下。
- (B) 枕の下。
- (C) ベッドの横。
- (D) 枕の近く。

第10) 文の内容より、(B)が正解。

3. ★★★

【放送された質問文と訳】

When did Americans revive this tradition?

アメリカ人はこの伝統行事をいつ復活させたか。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 18世紀の初めまでに。
- (B) 18世紀の中頃。
- (C) 19世紀の初め。
- (D) 19世紀の終わり頃。

第12) 文の内容より、(D)が正解。

4. ★☆☆

【放送された質問文と訳】

Why do some parents keep their children from bobbing for apples?

親の中に、自分の子どもにりんごかじりゲームをさせないようにしている人もいるのはなぜか。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 子どもにばい菌がうつるかもしれないから。
- (B) そのゲームは大人だけが楽しめるものだから。
- (C) りんごを入手するのがあまりにも困難だから。
- (D) そのゲームはハロウィーンに相応しくないから。

第13) 文の前半の内容より、(A)が正解。

5. ★★★

【放送された質問文と訳】

Which is NOT true of Snap Apple?

スナップ・アップルについて正しくないのはどれ

か。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) りんごを固定するのに棒が使われる。
- (B) 棒に取り付けられたロウソクに火が点けられる。
- (C) りんごにロウが塗られる。
- (D) りんごの付いた棒がグルグル回転する。

第14)～15) 文に(A), (B), (D)の内容が述べられているが、「りんごにロウが塗られる」とは言っていないので、(C)が正解。

② 中文空所補充問題

【①との選択問題】

【解答】

- (1) (エ) (2) (エ) (3) (ウ) (4) (イ)
- (5) (ア)

【配点】 (15点)

各3点×5

【出典】 *A Pill Could Help You Acquire Perfect Pitch*: [www.popsoci.com](http://www.popsoci.com) (January, 2014)

【本文解説】

＜第1段落＞

1) Only 1 in 10,000 people have absolute or "perfect" pitch, the ability to hear a tone and ( 1 ) what note it is. 2) This unusual ability is acquired early in life, typically learned during training at about four to six years of age, and there are no records of adults ( 2 ) the ability. 3) But a new study shows that people who took a drug normally used as a mood-stabilizer were significantly better at identifying the pitch of sounds, after two weeks of training, compared to those who took a placebo. 4) The drug, known as valproic acid or Valproate, "restores the plasticity of the brain to the state found in children," Harvard researcher and study co-author Takao Hensch said. 5) "It's the first time that a drug has ( 3 ) been shown to help people become better at identifying pitch," he said. 6) The study was conducted on 24 young men with little musical training, half of whom took the drug and half of whom took a

placebo.

1) ある楽音を聴いて、その音がどの音程なのかわかる能力である絶対音感、あるいは「完全」音感を持つ人はわずかに1万人中1人である。2) この人並み外れた能力が獲得されるのは幼い頃で、多くの場合はおよそ4歳から6歳の間に訓練して身につくものであり、大人がこの能力を獲得した記録はない。3) しかし新しい研究によると、通常は精神安定剤として用いられるある薬を服用した人が2週間訓練すると、プラシーボを服用した人よりも音程の特定が有意にうまくできるようになったとのことである。4) この薬はバルプロ酸あるいはバルプロエイトとして知られているが、「脳の可塑性を子どもに見られる状態まで回復する」とハーバード大の研究者であり、研究報告書の共同執筆者であるタカオ・ヘンシュは述べた。5) 「薬が音程を特定する助けとなることを示したのは、これが初めてです」と彼は語った。6) この研究は、ほとんど音楽の訓練を受けていない24人の若い男性に対して行われ、彼らの半数がこの薬を摂取し、半数はプラシーボを摂取した。

- 1) ・空所(1)については、【設問別解説】参照。
- 2) ・acquired early in life を typically learned during training at about four to six years of age がより詳しく言い換えている。  
・空所(2)については、【設問別解説】参照。
- 3) ・normally used as a mood-stabilizer が後ろから a drug を修飾している。
- 5) ・空所(3)については、【設問別解説】参照。
- 6) ・half of whom ... 以下は、24 young men の内訳を説明している。

- absolute pitch 「絶対音感」
- perfect pitch 「完全音感」(絶対音感と同じ)
- tone 「音、楽音」(音楽を構成する音)
- note 「音階中の特定の音」
- unusual 「人並み外れた」
- acquire O 「O(能力など)を獲得する」
- typically 「概して」
- mood-stabilizer 「精神安定剤」
- significantly 「(統計的に)有意に、かなり」
- identify O 「Oを特定する」
- pitch 「音程」
- compared to A 「Aと比べると」
- restore O 「Oを修復する」

- conduct O 「Oを実行する」

#### ＜第2段落＞

7) The finding is exciting enough, but it also suggests the drug could be used to help increase people's capacity for acquiring a second language, another ( 4 ) that declines sharply after a certain age. 8) "I think we are getting closer to a day when this drug could be used for learning new languages, because we are able to understand in greater detail at the cellular level how the brain changes throughout development," Hensch said. 9) "But I should caution that critical periods have evolved for a reason, and it is a process that one probably would not want to interfere with ( 5 )."

7) この研究結果は十分に胸躍るものであるが、この薬を使うことで第二言語を習得する能力を高める手助けになり得るということも示唆している。この能力も、特定の年齢以降は急激に低下するものだ。8) 「新たな言語を習得するのにこの薬を使える日が近づいているのではないかと思います。というのは、発達過程を通して脳がどのように変化するのかということが、細胞レベルで以前よりも詳細にわかっているからです」とヘンシュは言った。9) 「とはいえ、臨界期が進化によって生じたのには理由があり、これは安易に干渉することはためらわれるかもしれない過程なのだという事には留意しなければならないでしょう」

- 7) ・the drug could be used to help ... の部分は、be used to do 「…するために使われる」という表現が用いられている。  
・空所(4)については、【設問別解説】参照。
- 8) ・間接疑問 how the brain changes throughout development は、understand の目的語となっている。
- 9) ・空所(5)については、【設問別解説】参照。
  - finding 「見出されたもの、(研究・実験などの)結果」
  - suggest (that) ... 「…ということを示唆する」
  - capacity 「能力」
  - decline 「衰退する、低下する」
  - sharply 「急激に」
  - in detail 「詳細に」
  - cellular 「細胞の」

- caution that ... 「…だと用心しておく」
- critical period 「臨界期」(その時期を過ぎると、学習等がきわめて困難になる時期)
- evolve 「進化する」
- interfere with A 「A に干渉する」

### 【設問別解説】

(1) ★☆☆

【ポイント】  
絶対音感とは、音をどうする能力か？

空所の後ろが what note it is 「その音がどの音程なのか(ドレミ等のどの音に相当するのか)」という間接疑問である点に着目する。選択肢のうち間接疑問を目的語として意味が通るのは tell のみ。tell は間接疑問を目的語として「(何なのか、誰なのか、どこなのか等)がわかる」という意味で用いられる。空所に tell を入れれば、tell what note it is 「その音がどの音程なのかわかる」となり、文意も通る。したがって、(x)が正解。

▶ the ability to hear a tone and tell what note it is で「ある楽音を聴いて、その音がどの音程なのかわかる能力」という意味。この部分が直前の absolute or “perfect” pitch と同格になっている。

▷ (i)の inform が間接疑問を目的語とするのは、I informed her which bus she should take. 「私は彼女にどのバスに乗ればよいのかを伝えた」のように、伝達する相手も共に目的語とした場合に限られる。本文では、空所の後ろに伝達相手が目的語となっていないので不可。(v)の play 「演奏する」、(w)の extinguish 「(火・光などを)消す」は、what 以下を目的語とした場合に意味が通らないので不可。

(2) ★☆☆

【ポイント】  
〈前置詞＋意味上の主語＋動名詞〉の形式に注意

空所の前後は no records of adults ( 2 ) the ability となっている。空所に入れる動詞の目的語が the ability であることから、この能力(＝絶対音感)を require 「要求する、必要とする」という話なのか、acquire 「獲得する、身につける」という話なのかを考えれば、ふさわしい動詞は acquire であることは明らかだろう。第2)文の書き出し部分に This unusual ability is acquired early in life, ... とあることもヒントとなる。

次に、adults ( 2 ) the ability が前置詞 of の目

的語となっていることに着目する。空所に動詞の原形を入れると、文法的にまったく説明のつかない形になってしまう。一方で、ここに acquiring を入れれば、動名詞 acquiring の意味上の主語 adults が用いられており、「大人がこの能力を獲得したこと」という名詞句として理解できる。正解は(x)である。

(3) ★☆☆

【ポイント】  
意味的に適切な副詞は？

This is the first time that S has ever done で「S が…したのは、今回が初めてである」という意味になる。正解は(w)の ever である。他の副詞では文意が通らない。

(4) ★☆☆

【ポイント】  
another A 「もう1つの A」という表現が成立するためには？

空所に入る語を確定するポイントは以下の3つ。

- ・ people's capacity for acquiring a second language と another ( 4 ) that ... が同格になっている。よって、空所 ( 4 ) には capacity を言い換えた語が入るはず。
- ・ another ( 4 ) 「もう1つ別の ( 4 ) 」となっていることから、同種のものが一度話題として登場しているはず。
- ・ that declines sharply after a certain age という形容詞節によって修飾されていることから、「ある特定の年齢以降は急激に低下する」ものでなければならぬ。

以上のポイントを満たす語は ability しかない。capacity と ability は共に「能力」という意味で、同格による言い換えが成立する。また、第1段落で話題として取り上げられた「絶対音感」という ability に対して、「言語習得能力」をもう1つの ability と表現することは理にかなっている。したがって、(i)が正解。

(5) ★☆☆

【ポイント】  
関係代名詞の後ろに続く節の特徴は？

空所を含む文の a process の後ろに続く that は関係代名詞で、that 以下が a process を修飾する形容詞



節と想定すると文意が通る。that が関係代名詞であるということは、that 以下の文は名詞が1つ欠落した形式、いわゆる「不完全文」となると考えられる。

具体的に that 以下の文の構造を確認すると、one が主語で、述語動詞 would not want が不定詞 to interfere with を目的語に取っており、前置詞 with の目的語が欠落している。この前置詞の目的語に先行詞である process という名詞を想定すると、One would not want to interfere with the process. 「その過程に干渉したくないと思うかもしれない」という正しい文ができる。したがって、関係代名詞 that は、前置詞 with の目的語として働いていると理解できる。

よって、空所には名詞ではなく、副詞の carelessly を入れれば「安易に干渉したくないと思うかもしれない過程である」となって、文脈に合う英文が完成する。したがって、(ア)が正解。

- ▶ここで、interfere「干渉する」と言っているのは、薬で脳の可塑性を回復させることである。成長によって可塑性が失われることには何らかの進化上の理由があるはずで、自然の成長プロセスに干渉することには慎重であるべきだとヘンシュは述べている。
- ▷空所に名詞を入れると、関係詞節内部の文構造が破綻し、文法的に正しい文として読めなくなる。したがって、(イ)の care と(エ)の ease は不可。
- ▷(ウ)の uneasily「不安そうに」は文法的には入りうるが、文意が通らないので不可。

### ③ 文法・語法

#### 【解答】

- |   |         |            |        |        |
|---|---------|------------|--------|--------|
| A | 1. (ウ)  | 2. (イ)     | 3. (イ) | 4. (ア) |
|   | 5. (エ)  | 6. (ア)     | 7. (ア) | 8. (ウ) |
| B | 1. back | 2. subject |        |        |

#### 【配点】(20点)

A 各2点×8      B 各2点×2

#### 【設問別解説】

##### A 空所補充選択問題

##### 1. ★☆☆

Before she died, she (had given) away nearly everything she owned.

「死ぬ前に、彼女は持っていたもののほとんどすべてをくれてやっていた」

- |               |               |
|---------------|---------------|
| (ア) gives     | (イ) giving    |
| (ウ) had given | (エ) was given |

#### ★【ポイント】★ 主節の動詞として適切なものは？

Before she died とあることから、後続の主節で述べられていることはそれ以前に起こった出来事のはず。過去のある時点を基準に、それよりも前に起こった出来事は過去完了形で表す。したがって、(ウ)が正解。

- ▶ before や after があると前後関係がはっきりするので、前に起こった出来事でも過去形を用いてもかまわない。以下の例を参照。

【例】The last train **left** a couple of minutes before we got to the station.

(私たちが駅に着く数分前に終電は出発していた)

After you **left**, there was a call for you.

(あなたが出かけた後に、あなたへの電話があった)

- ▶ give away は「ただでやる、寄付する」という意味。

- ▶ she owned は everything を修飾する節。

▷(ア)の gives は現在形なので不可。

▷(イ)の giving は単独では述語動詞にならないので不可。

▷(エ)の was given は受動態では文意を成さず、nearly 以下とも文法的に結びつかないので不可。

##### 2. ★★☆☆

Calculate (what) percentage of your income you spend on food.

「収入の何パーセントを食費に使っているか計算しなさい」

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (ア) how   | (イ) what  |
| (ウ) where | (エ) which |

#### ★【ポイント】★ percentage の前に置く疑問詞は？

「何パーセントか」と問う場合には、疑問形容詞 what を名詞 percentage の前に置けばよい。したがって、(イ)が正解。

- ▶ what percentage ... on food は名詞節で、Calculate の目的語。what percentage of your income は名詞節中で spend の目的語になっている。

▷(ア)の how と(ウ)の where は副詞なので、名詞を修飾することはできない。

▷(ㄷ)の which にも疑問形容詞としての用法はあるが、which percentage とすると、「いくつかのパーセントのうちからどのパーセントかを計算する」というおかしい文意となるので、不可。

### 3. ★☆☆

Take your overcoat with you (in case) it gets cold in the night.

「夜寒くなるといけないから、コートを持っていきなさい」

- |             |             |
|-------------|-------------|
| (ㄱ) as if   | (ㄹ) in case |
| (ㄴ) so that | (ㄷ) unless  |

**【ポイント】**  
文脈に合った副詞節を導く語句として適切なものは？

選択肢はいずれも副詞節を導く語句。前半に「コートを持っていきなさい」という意味の命令文があり、空所の後に「夜寒くなる」という意味の文がある。以上から、in case 「…するといけないから、…する場合に備えて」を選べば、自然な文が成立する。したがって、(ㄹ)が正解。

▶ in case は「…する case (場合) もあるので、それに備えて」というのがもともとの意味。in case の導く節はふつう主節の後に置かれる。in case の導く節内で should が用いられることもあるが、will を用いてはならない。また、in case の後に接続詞 that を置いてはならないことにも注意。

▷(ㄱ)の as if 「あたかも…であるかのように」、(ㄴ)の so that 「…するように」、また(ㄷ)の unless 「…しない限り」では文意が成立しないので、不可。

### 4. ★☆☆

Murder (accounts for) 64 percent of work-related deaths among journalists in Iraq.

「イラクにいるジャーナリストの間では、殺人が仕事に関係する死亡事例の64パーセントを占めている」

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| (ㄱ) accounts for | (ㄹ) makes up for |
| (ㄴ) asks for     | (ㄷ) calls for    |

**【ポイント】**  
「…(の割合)を占める」という意味の表現は？

空所の後に 64 percent of ... という割合を表す表現があるので、accounts for を入れれば、「(殺人が) 64

%を占める」という意味になり、文意が成立する。したがって、(ㄹ)が正解。

▶ account for は「…の理由を説明する」という意味でもよく用いられる。以下の例を参照。

[例] That isn't enough to account for the money you spent.

(それではまだ、その金をどう使ったかを十分に説明したことにはならない)

▷(ㄹ)の makes up for は「…を補う、…の埋め合わせをする」という意味。

▷(ㄴ)の asks for と(ㄷ)の calls for は「…を要求する」という意味。

### 5. ★☆☆

The discussion went on far (into) the night.

「議論は夜更けまで続いた」

- |            |           |
|------------|-----------|
| (ㄱ) away   | (ㄹ) until |
| (ㄴ) within | (ㄷ) into  |

**【ポイント】**  
far into the night 「夜更けまで」

The discussion went on 「議論は続いた」とあるので、空所に into を入れて far into the night 「夜更けまで、夜遅くまで」という熟語表現にすれば、自然な文意が成立する。他の選択肢では文意が成立しない。したがって、(ㄷ)が正解。

▶ far into the night の類例として far into the future 「ずっと先の将来に」がある。

### 6. ★☆☆

Not only (did he take) the bribe, he lied to the press about it.

「彼はその賄賂を受け取っただけでなく、それについて報道陣に嘘もついた」

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| (ㄱ) did he take | (ㄹ) he did take  |
| (ㄴ) he took     | (ㄷ) having taken |

**【ポイント】**  
文頭に Not only があると？

not only X but (also) Y 「X だけでなく Y も」を用いた文では文頭に Not only を置くことがあるが、その場合、疑問文と同じ語順の倒置が起こる。したがって、(ㄱ)の did he take が正解。

▶ 問題文は He not only took the bribe, but he (also) lied to the press about it. の not only を文頭に移動

させ、but を省略したもの。否定表現が文頭に出た場合の倒置については、以下の **file** 参照。

**file** 否定表現が文頭に出た場合の倒置

ふつうは文頭に来ない副詞要素、主に否定の副詞表現が文頭に来ると、後続の要素が倒置形になり、一般動詞および助動詞がある場合には、副詞(句・節)+助動詞+S V ... の語順、be 動詞の場合には、副詞(句・節)+be+S ... の語順(疑問文の語順と考えればよい)になる。

1. 否定の副詞

[例] **Little did I dream** that I would never see her again.

(彼女に二度と会えなくなるとは夢にも思わなかった)

\* never / little / hardly / scarcely / rarely / seldom / nowhere といった否定の副詞が文頭にくる場合。

2. 否定の前置詞句

[例] **Under no circumstances must** the door be left unlocked.

(どんなことがあっても、そのドアのカギをかけずにおいてはならない)

\* on no account / on no terms / in no sense / in no (other) way といった「前置詞+no+名詞」が文頭にくる場合。

3. not など+副詞(句・節)

[例] **Never in all my life have** I been so surprised.

(生まれてこのかた、これほど驚いたことはなかった)

\* 1 で見た「否定の副詞(not / never など)」+「副詞(句・節)」が文頭にくる場合。

[例] **Not only does he love** her but he also respects her.

(彼は彼女を愛しているばかりでなく、彼女を尊敬している)

\* not only が文頭にくる場合。

[例] **Not until midnight did** we get home.  
(真夜中になってやっと私たちは家に着いた)

\* not until ... が文頭にくる場合。

4. only+副詞(句・節)

[例] **Only after a long argument did** he agree to our plan.

(議論をずっとしたあげく、やっと彼は私

たちの計画に賛成した)

\*「only+時・条件などの副詞(句・節)」が文頭にくる場合。only when ... / only after ... / only if ... などに特に注意。

7. ★★☆☆

Drive down the road on a hot summer day, (and) you might see a puddle of water up ahead even though it has not rained.

「暑い夏の日に道路を車で通ってごらん。そうすれば雨が降ったわけでもないのに前方に水たまりが見えることがあるよ」

(ア) and (イ) but  
(ウ) or (エ) so

【ポイント】

命令文、and ～

〈命令文、and ～〉の形式で「…すれば～することになる」という条件文に相当する内容を表せる。問題文前半の命令文の内容と後半の文の内容から、空所に and を入れると文意が成立するので、(ア)が正解。

▶問題文は If you drive down the road on a hot summer day, you might see a puddle of water up ahead even though it has not rained. と同意。

▶〈名詞、and ～〉でも同様の意味を表せる。以下の例を参照。

[例] One more click, and you'll get the information you need.

=If you click one more time, you'll get the information you need.

(もう1回クリックすれば、必要な情報が出てきますよ)

▷〈命令文、or ～〉の形式もあるが、「…しないと～することになる」という意味なので、文脈にそぐわない。よって、(ウ)は不可。以下の例を参照。

[例] Buy this now, or you'll be sorry later.

=If you don't buy this now, you'll be sorry later.

(今これを買わないと、後で後悔しますよ)

▷(イ)の but と(エ)の so では文意が成立しない。

8. ★★☆☆

One of the US national security advisers has admitted there (could have been) better intelli-

gence sharing before the September 11, 2001 attacks.

「2001年9月11日の同時多発テロの前にもっと十分な情報共有があり得ただろうと、米国国家安全保障問題担当顧問の1人が告白した」

(ア) can be (イ) can have been

(ウ) could have been (エ) must be

### 【ポイント】 比較級を伴う仮定法表現

has admitted が名詞節を目的語としており、空所には節内の動詞として適当なものを入れることになる。before the September 11, 2001 attacks があることから、過去の事柄が話題になっていることがわかる。仮定法過去完了の動詞 could have been を選べば、「(実際にはそうではなかったが) もっと十分な情報共有があり得ただろう」という「仮にやろうと思えば」などの条件の意味が読み取れる文となる。したがって、(ウ)が正解。

▷(ア)の can be は現在あるいはこれから先のことにについて用いられるので、不可。

▷過去の事柄に対する推量表現 cannot have been 「…だったはずはない」はあるが、can have been は否定語 (no, few, little, only など) の存在が前提となるので、(イ)は不可。

▷has admitted に後続する節では過去のことが述べられているので、<must+原形>を用いるのは文脈的におかしい。したがって、(エ)は不可。

## B 共通語補充問題

### 1. ★★★

a. He was anxiously pacing (**back**) and forth in the waiting room.

b. She turned her (**back**) to me, but I knew she was weeping.

c. I can't (**back**) you up on this matter.

a. 「彼は不安げに待合室を行ったり来たりしていた」

b. 「彼女は私に背中を向けたが、泣いているのが私にはわかった」

c. 「この件では君を支持することはできないね」

### 【ポイント】 back の様々な意味

a. back and forth で「あちこち、行ったり来たり」という意味の熟語表現。ここでの pace は「ゆっくりと歩く、歩き回る」という意味。

b. turn *one's* back (to A) で「(Aに)背中を向ける」という意味。

c. back O up / back up O で「Oを支える、支持する」という意味。

### 2. ★★★

a. "Which (**subject**) do you like best?" — "I like math best."

b. I want to take part in the experiment as a (**subject**).

c. Smokers are more (**subject**) to heart attacks than non-smokers.

a. 「どの教科が一番好きなの?」 — 「数学が一番好きだよ」

b. 「私は被験者としてその実験に参加したい」

c. 「喫煙者は非喫煙者よりも心臓発作を起こしやすい」

### 【ポイント】 subject の様々な意味

a. 「教科、科目」という意味の subject.

b. 「被験者」という意味の subject.

c. be subject to A で「A(病気など)にかかりやすい、A(病気など)の影響を受けやすい」という意味。この表現の subject は形容詞。

#### ④ 長文総合問題

##### 【解答】

- 問1 (ウ)  
 問2 (エ)  
 問3 an hour before you are supposed to  
 問4 (ウ)  
 問5 (イ)  
 問6 (イ)  
 問7 眠る人が早く起きることになると言われている日は、まるで朝が早いことを予期しているかのように、彼らのストレスホルモンは午前4時半に増加し始めた。  
 問8 体内時計を狂わせること。(12字)  
 問9 あなたの体が徐々に目覚めるためにこれほどの作業を済ませたところなので、ちょっと一眠りすることで体内時計が逆方向に回ることになる。

##### 【配点】(60点)

- 問1 4点 問2 5点 問3 6点  
 問4 5点 問5 5点 問6 5点  
 問7 10点 問8 8点 問9 12点

##### 【本文解説】

###### ＜第1段落＞

1) If you're one of the elite who regularly wake up five minutes or so before the alarm, here's the science behind it: your body's internal clock is just as good as, if not better than, the alarm clock ringing on your bedside table.

- 1) ・ who regularly wake up five minutes or so before the alarm は、the elite を先行詞とする関係代名詞節。  
 ・ five minutes or so before the alarm は、「目覚まし時計が鳴る5分ほど前に」の意味の副詞表現で、wake up を修飾する。  
 ・ 下線部(1)については、【設問別解説】参照。

##### 【テーマ】

床に就くのが真夜中だったり夜明け前だったり、といった不規則な睡眠が続くと、人間の体に備わっている「体内時計」の働きに大きな狂いが生じてくると言われている。体内時計が狂ってしまうと、海外旅行などでよくある「時差ボケ」が常に続いているような状態になり、体の調子を崩したり、集中力が低下したりすることもあるのは知ってのとおりだ。逆に、規則正しく十分な睡眠をとっていると、体内時計が正確に働いて、目覚まし時計をかけた時刻の数分前に自然に目が覚めるようになると言う。そのとき、体の中では何が起きているのだろうか？ また、目覚まし時計のアラームをいったん止めても、しばらくするとまた鳴り出すようにするスヌーズ機能は、体にどんな影響を与えるのだろうか？

【出典】mentalfloss.com (November 19, 2013)

1) もしあなたが、ふだんから目覚まし時計が鳴る5分ほど前に目が覚める優等生の1人であるならば、その背後にある科学的なものを説明すると、次の通りである。あなたの体内時計は、ベッドの脇のテーブルの上で鳴っている目覚まし時計と同等か、ひょっとするとより優秀なのだ。

- the elite 「選ばれた者、エリートの人たち」
- regularly 「定期的に、規則的に」
- wake up 「目覚める」
- alarm 「(目覚まし時計の)アラーム音」
- internal 「内部の、体内の」

###### ＜第2段落＞

2) At the center of your brain, a clump of nerves—called the suprachiasmatic nucleus—controls your body's internal clock: the daily biological rhythm. 3) This area in the brain determines when you feel sleepy and when you feel bright-eyed. 4) It controls your blood pres-

2) 脳の中心で、視神経交差上核と呼ばれる神経の集まりが、体内時計、すなわち1日の生体リズムを制御している。3) 脳のこの部位は、いつ眠いと感じるかや、いつすっきりと目覚めているかを決定する。4) それはまた血圧や体温、時間の感覚を制御している。5) それは自分の体を精密に調

sure, your body temperature, and your sense of time. 5) It turns your body into a finely tuned machine.	整された機械にしてくれるのだ。
---	-----------------

  

2) ・ called the suprachiasmatic nucleus は、ダッシュ(—)の前の a clump of nerves を補足説明するもの。 ・ the daily biological rhythm は、コロンの(:)の前の your body's internal clock を言い換えたもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● a clump of A 「A の集まり、一団の A」</li> <li>● nerve 「神経」</li> <li>● daily 「1 日の、日々の」</li> <li>● biological rhythm 「生体リズム」</li> <li>● determine O 「O を決定する」</li> <li>● bright-eyed 「はつらつとした」</li> <li>● blood pressure 「血圧」</li> <li>● body temperature 「体温」</li> <li>● sense 「感覚」</li> <li>● finely 「精密に、細かく」</li> <li>● tuned 「調整された」</li> </ul>
--	---

〈第 3 段落〉

6) That machine happens to love predictability. 7) Your body is most efficient when there's a ( 2a ) to follow. 8) So if you go to bed the same time each night and wake up the same time each morning, your body locks that behavior in. 9) And that's where things get scientific.	6) その機械は、図らずも予測できることを好むところがある。 7) 従うべき決まった手順があるとき、あなたの体はもっとも効率的なものになる。 8) したがって、毎晩同じ時間に寝て、毎朝同じ時間に目を覚ますと、あなたの体はその行動を決まった時間に行うようになる。 9) そして、ここから話が科学的になってくるのだ。
--	--

  

7) ・ 空所(2a)については、【設問別解説】参照。	● happen to do 「たまたま…する、図らずも…する」
8) ・ your body locks that behavior in とは「あなたの体がその行動を固定的に行うようになる」ということ。	● predictability 「予測可能性、予測できること」
9) ・ that's where things get scientific は「それが物事が科学的になるところだ」が直訳だが、「ここから話が科学的になってくるのだ」と読みとるとわかりやすくなる。	● efficient 「効率的な」
	● follow O 「O(方針・計画など)に従う、Oを守る」
	● lock O in / lock in O 「Oを閉じ込める、O(変動しうる数値など)を固定する」
	● behavior 「行動」

〈第 4 段落〉

10) Your sleep-wake cycle is regulated by a protein called PER. 11) The protein level rises and falls each day, peaking in the evening and falling sharply at night. 12) When PER levels are low, your blood pressure drops, heart rate slows, and thinking becomes foggy. 13) You get sleepy.	10) あなたの睡眠と覚醒のサイクルは、PER と呼ばれるタンパク質によって調節されている。 11) このタンパク質の濃度は毎日上下し、夕方ピークに達して、夜は急激に低下する。 12) PER の濃度が低いときは、血圧が下がり、心拍数が低下し、頭がもうろうとする。 13) あなたは眠くなるのだ。
--	--

  

11) ・ peaking in the evening と falling sharply at night はともに、The protein level rises and falls each day という主節を補足的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● regulate O 「Oを調節する」</li> <li>● protein 「タンパク質」</li> </ul>
---	--

に説明する分詞句。

- rise 「上昇する」
- peak 「ピークになる」
- heart rate 「心拍(数)」
- foggy 「霧がかかってはんやりした、(考えなどが)もうろうとした」

〈第5段落〉

14) If you follow a diligent sleep ( 2b ) — waking up the same time every day — your body learns to increase your PER levels in time for your alarm. 15) About <sup>(3)</sup>[to / before / are / an hour / supposed / you] wake up, PER levels rise (along with your body temperature and blood pressure). 16) To prepare for the stress of waking, your body releases a mixture of stress hormones, like cortisol. 17) Gradually, your sleep becomes lighter and lighter.

14) もしあなたがきちんとした手順にしたがって睡眠を取るのであれば、つまり毎日同じ時間に目覚めるならば、あなたの体は、あなたのかけた目覚ましの時間に間に合うように PER の濃度を上昇させるようになる。 15) 起きることになっている時刻より1時間ほど前に、PER の濃度が(体温・血圧とともに)上昇する。 16) 起床がもたらすストレスに備えるために、あなたの体はコルチゾールのようなストレスホルモンの混合物を分泌する。 17) あなたの睡眠は徐々に浅くなっていく。

14) ・空所(2b)については、【設問別解説】参照。

・waking up the same time every day は、ダッシュ(一)の前の follow a diligent sleep ( 2b ) を補足説明するもの。

15) ・下線部(3)については、【設問別解説】参照。

16) ・stress hormone 「ストレスホルモン」とは、ストレスを和らげようと分泌されるホルモンのこと。

・cortisol 「コルチゾール」は、スムーズに起床する下準備として、血糖値や血圧を調整したり胃酸の分泌を促したりするホルモン。

- diligent 「勤勉な、熱心な」
- learn to do 「…するようになる」
- in time for A 「A に間に合って」
- along with A 「A と一緒に、A とともに」
- prepare for A 「A に備える」
- release O 「O を放出する、分泌する」
- mixture 「混合物」
- gradually 「徐々に」

〈第6段落〉

18) And that's why you wake up before your alarm. 19) Your body hates your alarm clock. 20) It's jarring. 21) It's stressful. 22) And it ruins <sup>(4)</sup>all that hard work. 23) It defeats the purpose of gradually waking up. 24) So, to avoid being interrupted, your body does something amazing: it starts increasing PER and stress hormones earlier in the night. 25) <sup>(5)</sup>Your body gets a head start so the waking process isn't cut short. 26) It's so precise that your eyelids open minutes — maybe even seconds — before the alarm goes off.

18) つまり、このようなわけで、あなたは目覚ましが鳴る前に起きるのである。 19) あなたの体は目覚まし時計を嫌っている。 20) 耳障りなのだ。 21) ストレスを感じるのだ。 22) それに、こんなにもがんばって努力したのが水の泡だ。 23) 徐々に目覚めるという目的を無にするものだ。 24) というわけで、邪魔されないように、あなたの体は驚くべきことをする。それより早く夜のうちに PER とストレスホルモンを増やし始めるのだ。 25) 目覚めるプロセスが突然打ち切られることがないよう、体が先手を打って対応するわけである。 26) これは、目覚ましがり出す数分前か、ひょっとしたらわずか数秒前であるかもしれないが、その前にあなたのまぶたが開くことになるくらい正確なのだ。

18) ・that's why you wake up before your alarm は「それがあなたが目覚ましより前に起きるのはなぜかという理由だ」が直訳だが、「そういうわけで、あなたは目覚ましがり鳴る前に起きるのだ」と

- jarring 「(音などが)耳障りな」
- stressful 「ストレスの多い」
- ruin O 「O を台なしにする」

いうこと。

22) ・下線部(4)については、【設問別解説】参照。

25) ・下線部(5)については、【設問別解説】参照。

26) ・It's so precise that ... は、so ... that ~「とても…なので～／～なほど…」を用いた表現。

・minutes — maybe even seconds — before the alarm goes off において、minutes と (even) seconds の両方に対して before the alarm goes off が後続する。「目覚ましが鳴る数分前に」「目覚まし鳴る数秒前に」の意味の副詞表現になり、動詞 open を修飾している。

- defeat O「O(計画・期待・目的など)をだめ[無]にする」
- interrupt O「Oを中断する、O(人)の(仕事の)邪魔をする」
- amazing「驚くべき」
- get a head start「(競争相手より)先にスタートを切る、一歩先んじる」
- cut O short / cut short O「O(予定など)を途中で急に終わらせる」
- precise「正確な」
- eyelid「まぶた」
- go off「(目覚まし・警報などが)突然鳴り出す」

#### <第7段落>

27) There's evidence you can make yourself wake on time, too. 28) Sleep scientists at Germany's University of Lubeck asked 15 volunteers to sleep in their lab for three nights. 29) One night, the group was told they'd be woken at 6 a.m., while on the other nights the group was told they'd be woken at 9 a.m.

27) あなたが自分を時間通りに目覚めさせることができるという証拠もある。 28) ドイツのリューベック大学で睡眠を研究している科学者たちが、15人の実験協力者に、彼らの研究室で3泊するよう頼んだ。 29) そのグループは、一晩は午前6時に起こされると言われたが、残りの二晩は午前9時に起こされると言われた。

27) ・There's evidence you can make ... は、evidenceの後ろに接続詞の that が省略された形。evidence that ... で「…という証拠」の意味。

29) ・the group was told they'd be woken ... は、toldの後ろに接続詞の that が省略された形。be told that ... で「…と言われる」の意味。

・while は、ここでは対照を表していて、「…だが、(一方)～」という意味。

・the other nights は、文頭の One night「(3泊中の)一晩」と相關的に使われており、残りの二晩のことを言っている。

- evidence「証拠」
- on time「時間通りに」
- volunteer「ボランティア、志願者」
- lab「研究室、実験室」(laboratoryの略語)

#### <第8段落>

30) But the researchers lied — they woke the volunteers ( 6 ) anyway. 31) And the results were startling. 32) The day when sleepers had been told they'd wake up early, their stress hormones began to increase at 4:30 a.m., as if they were anticipating an early morning. 33) When the sleepers had been told they'd wake up at 9 a.m., their stress hormones hadn't started to increase — and they woke up groggier. 34) "Our bodies, in other words, note the time we hope to begin our day and gradually prepare us for consciousness," writes Jeff Howe in *Psychol-*

30) しかし、研究者たちは嘘をついていた——彼らは、いずれの場合も午前6時に実験協力者を起こしたのだ。 31) そして結果は驚くべきものだった。 32) 眠る人が早く起きることになると言われた日は、まるで朝が早いことを予期しているかのように、彼らのストレスホルモンは午前4時半に増加し始めた。 33) 眠る人が午前9時に起きることになると言われたときは、彼らのストレスホルモンはまだ増加し始めてはならず、彼らは意識がぼんやりした状態で起きた。 34)「言い換えれば、私たちの体は1日のスタートになると期待できる時刻を心に留め、意識を目覚めさせるよう自らに徐々に準備



ogy Today.	をさせるのです」と Psychology Today 誌にジェフ・ハウは書いている。
------------	--

30) ・空所(6)については、【設問別解説】参照。

32) ・下線部(7)については、【設問別解説】参照。

33) ・they'd はここでは they would のこと。

34) ・S が Our bodies, V は note と prepare の2つ。

・we hope to begin our day は the time を先行詞とする関係副詞節。the time の後ろに関係副詞の when が省略されていると考えてもよい。the time we hope to begin our day は、要するに「起床しようと思っている時間」のこと。

- researcher 「研究者」
- lie 「嘘をつく」
- anyway 「いずれにせよ、とにかく」
- startling 「驚くべき」
- as if S V ... 「まるで…するかのように」
- anticipate O 「O を予測する」
- groggy 「(眠気などで)頭がボーッとした」
- in other words 「言い換えれば」
- note O 「O に注意して心に留める」
- prepare O for A 「O(人)に A の準備[心構え]をさせる」
- consciousness 「意識」

#### 〈第9段落〉

35) Incidentally, if you don't wake before your alarm, you probably aren't getting enough sleep—or you aren't sleeping on a consistent schedule. 36) Waking up at different times on weekdays and weekends can quickly <sup>(8)</sup> throw your clock out of adjustment. 37) Without any consistency, your body may not know when to get up. 38) So when your alarm starts screaming, you feel dazed and irritable.

35) ところで、目覚まし鳴る前に目を覚まさないならば、あなたはおそらく十分な睡眠をとっていないか、あるいは規則正しく眠っていないかであろう。36) 平日と週末で異なる時間に目覚めることは、あなたの体内時計の調子をすぐに狂わせることになりかねない。37) 規則性が全くないと、あなたの体はいつ起きればよいのかわからなくなるかもしれない。38) それで、目覚まし時計が甲高い音で鳴り出すと、あなたはぼうぜんとし、いらだった気持ちになるのである。

35) ・sleep on a consistent schedule 「終始一貫したスケジュールで眠る」というのは、「規則正しく就寝し、起床する」ということ。

36) ・Waking up at different times on weekdays and weekends が主語。

・下線部(8)については、【設問別解説】参照。

- incidentally 「ついでに(言えば)、ところで」
- consistent 「終始一貫した」
- out of adjustment 「調子が狂って[乱れて]」
- consistency 「一貫性」
- scream 「甲高い音を鳴らす」
- dazed 「ぼうぜんとした」
- irritable 「いらだった」

#### 〈第10段落〉

39) Finally, don't touch the snooze button. 40) <sup>(9)</sup> Since your body's gone through all that work to rise gradually, a quick nap makes your internal clock spin in the wrong direction. 41) All the hormones that help you fall asleep interfere with the hormones that help you wake up.

39) 最後になるが、スヌーズボタンに触れてはならない。40) あなたの体が徐々に目覚めるためにこれほどの作業を済ませたところなので、ちょっと一眠りすることで体内時計が逆方向に回ることになる。41) あなたが寝入るのを助けるホルモンはどれも、あなたが目覚めるのを助けるホルモンの邪魔

42) Your body gets confused. 43) You feel groggier. 44) And with each push of the snooze button, it gets worse. 45) A snooze, it seems, is the worst way to start your day.

をする。 42) あなたの体は混乱する。 43) もっと頭がボーッとする感じになる。 44) そしてスヌーズボタンを押すたびに、さらに悪化する。 45) どうやら目覚めた後でまた寝直すのは、あなたが1日を始める最悪の方法であるらしい。

40) ・下線部(9)については、【設問別解説】参照。

41) ・that help you fall asleep は All the hormones を先行詞とする関係代名詞節。

・that help you wake up は the hormones を先行詞とする関係代名詞節。

43) ・比較級 groggier は、スヌーズボタンを押すと、押さなかったときよりもさらにもうろうとした状態で起きることになるということを表している。

45) ・it seems は挿入節。It seems that a snooze is the worst way to start your day. ということ。

● go through A 「(困難・手続きなど)をやり遂げる」

● rise 「起きる」

● quick nap 「(つかの間の)うたた寝、一眠り」

● spin 「(急速にくるくる)回転する」

● fall asleep 「寝入る」

● interfere with A 「A の邪魔をする」

● get confused 「混乱する」

● snooze 「うたた寝」

## 【設問別解説】

### 問1 下線部内容選択問題 ★☆☆

次の文が下線部(1) your body's internal clock is just as good as, if not better than, the alarm clock ringing on your bedside table の表す内容になるように、以下の下線部に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

あなたの体内時計は、ベッドの脇のテーブルの上で鳴っている\_\_\_\_\_

(ア) 目覚まし時計と同等とは言いきだが、かなり優秀だ。

(イ) 目覚まし時計より優秀でないならば、少しも役に立たない。

(ウ) 目覚まし時計に、優秀さにおいて勝るとも劣らない。

(エ) 目覚まし時計とは比べ物にならないくらい優れている。

### ★【ポイント】★

X, if not Y

この英文は、体内時計が正確に働いていると、目覚まし時計並みの正確さで睡眠のリズムを制御するので、目覚ましが鳴る数分前に自然と目を覚ますことができるということに関する研究を紹介するものであ

る。

下線部の your body's internal clock is just as good as, if not better than, the alarm clock ... は、X, if not Y という決まり表現を用いたもの。X, if not Y は直訳すると「たとえ Y とは言わないまでも、X だ」となるが、Y が X の意味をより強調した表現になっている場合は「X であり、ひょっとすると Y でさえあるかもしれない」の意味になる。

[例] They developed a drug that could save thousands, if not millions, of lives.

(彼らは何千人、ひょっとすると何百万人もの命を救えるかもしれない新薬を開発した)

ここでは X にあたるのが just as good as 「…に全くひけを取らない、勝るとも劣らない」、Y にあたるのが better than 「…より優れている」で、共に the alarm clock と結びついている。また、ringing on your bedside table は the alarm clock を修飾する分詞句。したがって、下線部(1)の意味は、「あなたの体内時計は、ベッドの脇のテーブルの上で鳴っている目覚まし時計と同等か、ひょっとするとより優秀なのだ」となる。したがって、(ウ)が正解。

### 問2 同一語空所補充選択問題 ★☆☆

空所 (2a), (2b) に共通して入れるのに最も適当なものを、次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

(ア) direction

(イ) path

- |                |                |
|----------------|----------------|
| (ウ) prediction | (エ) routine    |
| (ア) 指示         | (イ) 進路         |
| (ウ) 予測         | (エ) 決まった手順, 日課 |

### 【ポイント】

「決まった時間の寝起き」を指す名詞は？

空所(2a)を含む第3段落では、「毎晩同じ時間に寝て同じ時間に目を覚ますという規則正しい日課を守るようにすると、体内時計が効果的に働くようになって、正確にその時間に寝起きをするようになる」ことが述べられている。空所(2a)に(エ)の routine 「(毎日の)決まった手順」を入れれば、第7文は「従うべき決まった手順があるとき、あなたの体はもっとも効率的なものになる」という意味になり、文意が成立する。

空所(2b)を含む第5段落では、「毎日同じ時間に目を覚ますといったことを守れば、体内で PER やストレスホルモンが増加して、その時間に目が覚めるよう備える」ことが述べられている。空所(2b)にも(エ)の routine を入れてみると、空所を含む第14文は、全体として「毎日同じ時間に起床するなどの睡眠の習慣を守れば、目覚ましが鳴るのに間に合うよう PER が増加する」という趣旨になり、文意が通るので、(エ)が正解であることが裏付けられる。

▷ (2a) および (2b) に (ア) の「指示」、(イ) の「進路」、(ウ) の「予測」といった語を入れても、「決まった時間の寝起き」を表すことにはならない。したがって、(ア)、(イ)、(ウ) は不可。

### 問3 語句整序問題 ★★☆☆

下線部(3)[to / before / are / an hour / supposed / you]の[ ]内の語句を並べ換えて、文脈に合った英文を完成せよ。

### 【ポイント】

- ・「…する1時間ほど前に」
- ・be supposed to do

与えられた語句に supposed があることに着目し、you を S, be supposed to do 「…することになっている、…しなければならない」という表現を V の位置に置くことを考える。be supposed to には下線部直後の wake up が後続すると考えられるので、you are supposed to wake up という語順になると想定できる。

下線部の後の PER levels (S) rise (V) という表現は、主節だと考えられる。下線部直前の About と合わせて、about an hour before S V ... で、「…する1時間ほど前に」の意味の副詞表現を作れば、後続する主節にうまくつながる。

以上から、下線部を含む文は About an hour before you are supposed to wake up, PER levels rise. 「起きることになっている時刻より1時間ほど前に、PER の濃度が上昇する」となる。

▶ 第5段落の下線部の直前では、第4段落で紹介された、睡眠と覚醒のサイクルを司る PER タンパク質の濃度が、目覚めにに向けて体内で上昇することが述べられている。上記の解答で、文脈にも合うことが確認できる。

▶ before や after の直前に、an hour / ten years などの具体的な時間の長さを示す表現や、soon / shortly / some time などが置かれた、「時間のずれ」がどれだけあるかを表す表現に注意。

【例】 It began to rain a couple of minutes after I had left home.

(私が自宅を出て2、3分後に雨が降り始めた)

【例】 I joined the orchestra shortly before he retired.

(私がそのオーケストラに加わったのは、彼が引退する直前のことだった)

### 問4 下線部内容選択問題 ★☆☆☆

下線部(4) all that hard work の表す内容として最も適当なものを、次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) ストレスがたまるあらゆる仕事
- (イ) 前の日にあんなにがんばって働いたこと
- (ウ) 体内時計に基づく目覚めるための生理的な準備
- (エ) 目覚まし時計に無理に起こされること

### 【ポイント】

文脈から指示内容を見抜く

下線部を含む第6段落では、「せっかく体内時計に基づいて行ってきた努力が水の泡にならないよう、目覚まし時計に邪魔されることなく、アラームが鳴る直前に目が覚める仕組みが体には備わっている」ということを述べている。

下線部 all that hard work 「それほどの努力」の内

容を前にさかのぼって求めると、第5段落第15)・16)文に述べられた「PERの濃度上昇とストレスホルモンの混合物の分泌」のことだとわかる。これはすなわち、「体内時計に基づく目覚めるための生理的な準備」に他ならない。したがって、(ウ)が正解。

#### 問5 下線部内容選択問題 ★★☆☆

下線部(5) Your body gets a head start so the waking process isn't cut short. の表す内容として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 睡眠時間が短くならないように、体の中でまず頭を働かせ始める。
- (イ) 目覚し時計に邪魔されずに目覚められるように、体が先手を打って対応する。
- (ウ) 体には頭脳があり、したがって目覚めるプロセスは始まれば短縮されない。
- (エ) 体の中では頭脳が最初に働き始めるので、目が覚めるプロセスに近道はない。

・ get a head start  
・ so (that) S (will [can]) do

get a head start は「(競争相手より)先にスタートを切る、一歩先んじる」の意味の決まり表現。ここでは「目覚まし時計に負けないう、人の体が先手を打つ」ことを表している。

so the waking process isn't cut short は so that S (will [can]) do 「…するために、…するように」の表現で that が省略された形。isn't cut short は cut O short / cut short O 「O(予定など)を途中で急に終わらせる」の受動態を用いたもの。よって直訳は「目覚めるプロセスが途中で急に終わりにさせられないように」となるが、「目覚し時計に邪魔されずに目覚めプロセスを終えられるように」ということ。したがって、(イ)が正解。

▶ so that S will [can] do 「…するために、…するように」には、本問のように助動詞がつかない場合もあるので注意。

#### 問6 空所補充選択問題 ★★☆☆

空所(6)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) at 4:30 a.m. (イ) at 6 a.m.
- (ウ) at 9 a.m. (エ) at random

- (ア) 午前4時半に (イ) 午前6時に
- (ウ) 午前9時に (エ) でたために

【ポイント】  
本文の論旨を裏付ける証拠となる実験であること  
の理解

解答のポイントは以下の通り。

- ・第6段落では「体内時計に基づき、人の体は起きる時刻に先立ってストレスホルモンの分泌などを始めるので、目覚まし鳴る直前に自分で目を覚ますことができる」と述べられ、続く第7段落の第27)文からは「人は自分で起きることになっている時間通りに起きられる、という証拠になる実験」を紹介しようとしていることがわかる。それが、第7段落および空所を含む第8段落で述べられている実験である。
- ・第8段落の第32)文に「眠る人が早く起きることになると言われていた日は、まるで朝が早いことを予期しているかのように、彼らのストレスホルモンは午前4時半に増加し始めた」とあることから、「被験者は午前4時半にはまだ目が覚めていなかった」と考えられる。したがって、起こされたのは午前4時半より後である。
- ・第8段落の第33)文に「午前9時に起こされると言われていた日は、(実際に起こされた時刻には)彼らのストレスホルモンはまだ増加し始めてはおらず、彼らは意識がぼんやりした状態で起きた」とある。すっかり目覚められなかったのは、目覚めるための体の準備を済ませる前に起こされてしまったからである。したがって、起こされたのは午前9時より前である。

以上から、起こされたのは、午前4時半より後で、午前9時より前ということになる。したがって、(イ)の at 6 a.m. 「午前6時に」が正解。

▶ なお、第7段落の第29)文、第8段落の第30)・32)・33)文に書かれていることをまとめると、以下のようになる。

被験者が事前に言われていた起床時刻	被験者が実際に起こされた時刻	ストレスホルモンの増加度
午前6時(一晩)	午前6時	午前4時半に増加し始めた
午前9時(二晩)	午前6時	実際に起こされた午前6時には、まだ増加し始めていなかった

▷(エ)の「でたために(起こした)」だと、空所を含む文の「被験者は三晩とも同じ時刻に起こされた」という内容と矛盾する。空所の直後に anyway 「いずれ

にせよ」とあるのは、研究者たちが被験者を「三晩のいずれの場合も同じ時刻に起こした」ということを示唆している。

問7 下線部和訳問題 ★★★

下線部(7) The day when sleepers had been told they'd wake up early, their stress hormones began to increase at 4:30 a.m., as if they were anticipating an early morning. を和訳せよ。

【ポイント】

- ・文頭の副詞表現を見抜く
- ・as if S V ...

訳出上のポイントは以下の通り。

- ・主節は their stress hormones ... at 4:30 a.m. の部分であり、「彼らのストレスホルモンは午前4時半に増加し始めた」という意味。
- ・したがって、文頭の The day when sleepers had been told they'd wake up early は副詞表現だと考えられる。when sleepers had been told they'd wake up early は The day を先行詞とする関係副詞節。The day の前に前置詞の on が省略されていると考えてもよい。以上からこの副詞表現の部分は「眠る人が早く起きることになると言われていた日は」となる。
- ・as if they were anticipating an early morning は副詞節で、as if S V ... 「まるで…するかのよう」を用いた表現。以上からこの部分は「彼らはまるで朝が早いことを予期しているかのよう」となる。

以上から、「眠る人が早く起きることになると言われていた日は、まるで朝が早いことを予期しているかのよう、彼らのストレスホルモンは午前4時半に増加し始めた」のように訳出できる。

問8 下線部内容説明問題 ★★★

下線部(8) throw your clock out of adjustment はどういうことか。本文に即して、句読点を含めて15字以内の日本語で書け。

【ポイント】

- ・your clock の指すもの
- ・out of adjustment

throw O out of adjustment は「Oの調子を狂わす[乱す]」という意味。動詞である throw の主語が

Waking up at different times on weekdays and weekends 「平日と週末で異なる時間に目覚めること」なので、下線部(8)を含む第36)文は「平日と週末で異なる時間に目覚めることは、あなたの時計の調子をすぐに狂わせることになりかねない」となる。ここで述べられている、狂わされかねない「あなたの時計」とは何かと考えると、それは「体内時計」のことである。したがって、「体内時計を狂わせること。」のように書けばよい。

問9 下線部和訳問題 ★★★

下線部(9) Since your body's gone through all that work to rise gradually, a quick nap makes your internal clock spin in the wrong direction. を和訳せよ。

【ポイント】

- ・go through A
- ・無生物主語

訳出上のポイントは以下の通り。

- ・Since your body's gone through all that work to rise gradually は副詞節で、since S V ... 「…なので」を用いた表現。go through A は「A(困難・手続きなど)をやり遂げる、済ます」の意味。to rise gradually 「徐々に目覚めるために」は目的を表す不定詞句。以上からこの部分は、「あなたの体が徐々に目覚めるためにこれほどの作業を済ませたところなので」と訳出できる。
- ・後半の主節となる部分の主語は a quick nap で、「(つかの間の)うたた寝、一眠り」の意味。
- ・makes your internal clock spin in the wrong direction は make O do 「Oに…させる」を用いた表現。your internal clock が O、do にあたるのが spin in the wrong direction 「間違った方向に回転する」。以上からこの部分は「一眠りはあなたの体内時計を間違った方向に回転させる」が直訳だが、主語が無生物なので、「ちょっと一眠りすることで体内時計が逆方向に回ることになる」と訳すとより自然になる。

よって、「あなたの体が徐々に目覚めるためにこれほどの作業を済ませたところなので、ちょっと一眠りすることで体内時計が逆方向に回るようになる」のように訳出できる。

## ⑤ 長文総合問題

### 【解答】

- 問1 (ウ)  
 問2 ある物やその特定の細部を写真に撮ると、それらに関する記憶が正確に保持されなくなってしまうという結果。(50字)  
 問3 このことから彼女は、人生における出来事をカメラでとらえることで、後になって私たちが覚えているものがどの程度影響を受けるのだろうかと考えた。  
 問4 (イ)  
 問5 意外なことに、物の特定の細部をカメラで拡大して写真に撮ることで、その拡大した部分だけでなく、写真の枠から外れた部分の記憶まで保持できるらしいということ。(76字)  
 問6 (エ)  
 問7 撮った写真を後で見返すことは記憶の助けになるだろうが、それは実際に時間をかけてそうすればということである。

### 【配点】(60点)

- 問1 5点 問2 10点 問3 13点  
 問4 5点 問5 12点 問6 5点  
 問7 10点

### 【テーマ】

「フード・ボルノ」という言葉をご存じだろうか。レストランやカフェで料理の写真を撮り、ブログやツイッターなどで公開する行為を揶揄して言う表現である。携帯電話やスマートフォンの普及により、誰もが常に「カメラ」を手に行っている時代を象徴するものと言えるだろう。しかしカメラで写真を撮るのが瞬間を記憶しておくためののだとすれば、それは本当に目的に適ったことなのだろうか。どうもそうではないらしいことが最近の研究によって示唆されている。

【出典】 [www.psychologicalscience.org](http://www.psychologicalscience.org) (December 9, 2013)

### 【本文解説】

#### ＜第1段落＞

1) Visit a museum these days and you'll see people using their smartphones and cameras to take pictures of works of art, archeological finds, historical artifacts, and any other object that strikes their fancy. 2) While taking a picture might seem like a good way to preserve the moment, new research suggests that museum-goers may want to ( 1 ).

1) 近頃は博物館を訪れると、人々がスマートフォンやカメラを使って美術品、考古学的発見物、歴史的工芸品やその他何でも自分の気に入った物を写真に撮っているのを見かける。 2) 写真を撮るというのはその瞬間を保存するよい方法であるように思えるかもしれないが、新しい研究によれば、博物館に行く人は写真を撮るのをやめた方がいいかもしれないということだ。

- 1) ・ Visit ... and you'll see ... は〈命令文+and〜〉「…してみなさい、そうすれば～することになる」の形。  
 ・ see people using ... は, see O *doing* 「Oが…しているのを見る」を用いた形。  
 ・ that strikes their fancy は object を修飾する関係詞節。strike *one's fancy* で「…の気に入る」という意味の表現。  
 2) ・ seem like A で「Aであるように思える」の意味。  
 ・ museum-goer は「博物館[美術館]の入館者、博物館[美術館]によく行く人」の意味。moviegoer「映画によく行く人」やconcert-goer「コンサートによく行く人」などのような例もある。  
 ・ want to *do* はここでは「…した方がいい」の意味。

【例】 You want to see a doctor soon.

(すぐに医者に見てもらった方がいいよ)

- ・ 空所(1)については、【設問別解説】参照。

- museum 「博物館、美術館」
- archeological 「考古学的な」
- find 「発見物」
- historical 「歴史的な」
- artifact 「人工物、工芸品」
- object 「物、対象物」
- preserve O 「Oを保存する」
- research 「研究」

＜第2段落＞

3) In a new study, psychological scientist Linda Henkel of Fairfield University presents data showing that participants had worse memories for objects, and for specific object details, when they took photos of them. 4) <sup>(2)</sup> The findings are published in *Psychological Science*, a journal of the Association for Psychological Science.

3) 新しい研究で、フェアフィールド大学の心理学者であるリンダ・ヘンケルは、実験の参加者があ  
る物やその特定の細部を写真に撮ると、それらに関  
して正しく記憶できなくなることを示すデータを提  
示している。 4) この結果は心理学協会の学術誌  
である *Psychological Science* 誌で発表されてい  
る。

- 3) ・ psychological scientist と Linda Henkel of Fairfield University は同格。  
・ showing that ... は data を修飾する現在分詞句。  
・ for objects と for specific object details が and によって並列されており、ともに worse memories に後続している。  
・ them は objects と specific object details を指す。  
4) ・ 下線部(2)については、【設問別解説】参照。  
・ *Psychological Science* と a journal of the Association for Psychological Science は同格。

- psychological scientist 「心理学者」
- present O 「O を提示する」
- participant 「参加者、関係者」
- specific 「特定の」
- detail 「細部、詳細」
- finding 「(実験・研究などの) 結果」
- publish O 「O を発表する」
- journal 「定期刊行物、学術誌」
- association 「協会」

＜第3段落＞

5) Henkel was inspired to conduct the research in part because of her own experiences. 6) "People so often whip out their cameras almost mindlessly to capture a moment, to the point that they are missing what is happening right in front of them," says Henkel. 7) <sup>(3)</sup> This led her to wonder about the extent to which capturing events in our lives with a camera shapes what we later remember.

5) ヘンケルがこの研究をする気になったのは、1つには彼女自身の経験のせいだった。 6) 「人々は、瞬間をとらえるためほとんど考えなしにカメラをさっと取り出すことがとても多く、自分たちの目の前で起こっていることを見逃すほどになっています」とヘンケルは言う。 7) このことから彼女は、人生における出来事をカメラでとらえることで、後になって私たちが覚えているものがどの程度影響を受けるのだろうかと考えた。

- 5) ・ Henkel was inspired to conduct ... は inspire O to do 「O を奮起させて[促して]...させる」の受動態を用いた形。  
・ in part because of ... は理由を表して「1つには...のために」の意味。  
6) ・ to capture a moment は目的を表す不定詞句。  
・ to the point that ... は「...するほどまでに」の意味。ここでの point は「程度」を表す。  
・ what is happening right in front of them は miss の目的語である名詞節で、what は関係代名詞。  
7) ・ 下線部(3)については、【設問別解説】参照。

- conduct O 「O (研究など)を行う」
- whip O out / whip out O 「O をさっと取り出す」
- mindlessly 「思慮なく、考えなしに」
- capture O 「O をとらえる」
- miss O 「O を逃す」
- lead O to do 「O に...するようにさせる」
- wonder about A 「A について考えをめぐらす」
- extent 「程度」
- shape O 「O を形成する、O に影響を与える」

＜第4段落＞

8) To find out, she set up an experiment in the Bellarmine Museum of Art at Fairfield University. 9) Undergraduates were led on a tour around the museum and were asked to take note of certain objects, either by photographing them or by simply observing them. 10) The next day, their memory of the objects was tested.

8) このことを確かめるため、彼女はフェアフィールド大学にあるベラルミーノ美術館での実験を企画した。9) 大学生が美術館の見学に連れていかれ、写真を撮るかあるいは単に観察することによってある特定の物を心に留めておくように求められた。10) 翌日、その物についての彼らの記憶がテストされた。

8) ・To find out は「目的」を表す不定詞句。

9) ・either by photographing them or by simply observing them は either A or B 「A か B のどちらか」を用いた形で、take note of certain objects を修飾している。take note of ... は何かに注意を向け、それを心に留めておくことを表す。

- set O up / set up O 「O を企画する、準備する」
- undergraduate 「大学生、学部生」
- lead O 「O を率いる」
- certain 「特定の」
- photograph O 「O の写真を撮る」
- observe O 「O を観察する」

＜第5段落＞

11) The data showed that participants were less accurate in recognizing the objects they had photographed compared to those they had only observed. 12) ( 4 ), they weren't able to answer as many questions about the objects' visual details of those objects they had photographed.

11) そのデータが示したのは、参加者たちは単に観察しただけの物の認識に比べ、写真を撮った物の認識には正確さを欠いていたということだった。12) さらに彼らは、物の外見上の細かい点に関する質問において、写真を撮った物については、観察しただけの物についてほどは多くの質問に答えることができなかった。

11) ・less accurate は <less + 形容詞 [副詞]> 「より…でない」を用いた形。

・in recognizing ... は「…を認識することにおいて」の意味。

・they had photographed は objects を修飾する関係詞節。

・compared to ... は「…と比較して」の意味。

・those they had only observed は「参加者が(写真を撮らずに)単に観察しただけの物」の意味。those は the objects のこと。

12) ・空所(4)については、【設問別解説】参照。

・ここでの those は、後続する objects が they had photographed によって修飾される先行詞であることを示している。

・この文では比較の対象を導く接続詞の as 以下が省略されているが、ここでは「観察しただけの物についてほどは」と補って訳出している。

- accurate 「正確な」
- recognize O 「O を認識する」
- visual 「視覚の、目に見える」

＜第6段落＞

13) Henkel calls this the “photo-taking impairment effect”: “When people rely on technology to remember for them — counting on the camera to record the event and thus not needing to attend to it fully themselves — it can have a negative impact on how well they remember their

13) ヘンケルはこれを「写真撮影減損効果」と呼んでいる。「自分の代わりに科学技術がものごとを覚えておいてくれると当てにすると——つまりカメラが出来事を記録してくれると当てにして、だから自分自身は十分に注意を向けなくてもよいと考えるところ——自分の経験を記憶できる度合いに、好ましく



<p>experiences," she explains.</p>	<p>ない影響を与えかねないのです」と彼女は説明する。</p>
<p>13) ・Henkel calls this the "photo-taking impairment effect" は call OC 「O を C と呼ぶ」を用いた形。this が O, the "photo-taking impairment effect" が C になっている。</p> <p>・people rely on technology to remember for them は rely on A to do 「A が…することを当てにする」を用いた形。for them は「彼らの代わりに」ということ。</p> <p>・ダッシュ(一)で挟まれた部分は、直前の people rely on technology to remember for them が、どのようなことを意味するかについて補足的に述べている。</p> <p>・counting on the camera to record ... は、count on A to do 「A が…するのを期待する」を用いた形。</p> <p>・attend to it の it は the event を指す。</p> <p>・it can have a negative impact の it は、直前の When 以下の内容を指す。</p> <p>・how well S V ... で、「どれほどよく…するか」の意味。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● impairment 「悪化, 減損」</li> <li>● thus 「したがって」</li> <li>● need to do 「…することを必要とする」</li> <li>● attend to A 「A に注意を向ける」</li> <li>● fully 「十分に」</li> <li>● negative 「否定的な, 好ましくない」</li> <li>● impact 「影響」</li> </ul>
<p>＜第 7 段落＞</p> <p>14) A second study replicated these findings, but it also presented <sup>(5)</sup>an interesting twist: taking a photograph of a specific detail on the object by zooming in on it with the camera seemed to preserve memory of the object, not just of the part that was zoomed in on but also of the part that was out of frame. 15) "These results show how the 'mind's eye' and the camera's eye are not the same," says Henkel.</p>	<p>14) 2 度目の研究でもこれらの結果は再現されたが、そこでは興味深い意外な発見もあった。物の特定の細部をカメラで拡大して写真に撮ることで、拡大した部分だけでなく、写真の枠から外れた部分についてまでその物の記憶を保持できたようなのだ。</p> <p>15) 「これらの結果は、『心の目』とカメラの目が同じではないことを示しています」とヘンケルは言う。</p>
<p>14) ・下線部(5)については、【設問別解説】参照。</p> <p>・コロン(:)以下では、taking a photograph of a specific detail on the object by zooming in on it with the camera が主語、seemed が動詞になっている。</p> <p>・by zooming in on it の it は a specific detail on the object を指す。zoom in on A で「A(被写体)にカメラを近づける、A をズームレンズで拡大する」の意味。</p> <p>・not just of the part that was zoomed in on but also of the part that was out of frame は not just A but also B 「単に A だけでなく B もまた(=not only A but also B)」を用いた形で、memory of the object について補足的に述べた部分。</p> <p>・be out of frame で「(写真の)枠から外れた」の意味。</p> <p>15) ・ここでの how S V ... は「…ということ」の意味。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● replicate O 「O を複製する, 再現する」</li> <li>● twist 「意外な展開」</li> </ul>
<p>＜第 8 段落＞</p> <p>16) Henkel's lab is currently investigating whether the content of a photo, such as whether you are in it, affects later memory. 17) She also wonders whether actively choosing what to photo-</p>	<p>16) ヘンケルの研究所では現在、写真の内容、たとえば自分が写っているかどうかといったことが、後の記憶に影響を与えるかどうかについて調査している。</p> <p>17) 彼女はまた、何を写真に撮るべきかを</p>

graph might influence what we remember. 18) “This study was carefully controlled, so participants were directed to take pictures of particular objects and not others,” says Henkel, “but ( 6 ) people take photos of things that are important to them, that are meaningful, that they want to remember.”

積極的に選択するかどうか、私たちが記憶するものに影響を与えるのかもしれないと考えている。18) 「この研究は入念にコントロールされたものであり、参加者は特定の物を写真に撮り、他の物は撮らないように指示されていました。しかし日常生活では、人は自分にとって重要なもの、意義のあるもの、覚えておきたいものの写真を撮っているのです」とヘンケルは言う。

- 16) ・ such as whether you are in it は the content of a photo の具体例を述べている。it は a photo を指す。  
17) ・ wonders の目的語である whether 節中は actively choosing what to photograph が S, might influence が V, what we remember が O の形になっている。  
18) ・ participants were directed to take ... は direct O to do 「O に…するよう指図する」の受動態を用いた形。  
・ others は other objects のこと。  
・ 空所(6)については、【設問別解説】参照。  
・ that are important to them, that are meaningful, that they want to remember はすべて things を修飾する関係詞節。

- lab 「研究室、実験室」
- currently 「現在(は)」
- investigate O 「O を調査する」
- whether S V ... 「…かどうか」
- content 「中身、内容」
- affect O 「O に影響を与える」
- actively 「積極的に」
- choose O 「O を選ぶ」
- influence O 「O に影響を与える」
- meaningful 「意義のある」

#### ＜第9段落＞

19) Most museum-goers would probably argue that they take pictures so that they're able to look at them later. 20) Doesn't reviewing the photos we've taken help us to remember? 21) Memory research suggests that it would, but only if we actually took the time to do it: “Research has suggested that the sheer volume and lack of organization of digital photos for personal memories discourages many people from accessing and reminiscing about them,” says Henkel. 22) “In order to remember, we have to access and interact with the photos, rather than just amass them.”

19) おそらく美術館に行く人々の大半は、写真を撮っているのは、後になってそれらを見られるようにするためだと主張するだろう。20) 撮った写真を後で見返すことは記憶の助けにならないのだろうか。21) なるだろうが、それは実際に時間をかけてそうすればということであると記憶に関する研究は示唆している。「個人的な思い出のためにデジタル写真を大量に撮ってそれらを整理しないと、多くの人はそれらを見て思い出にふけろうという気になれなくなることが研究からわかっています」とヘンケルは言う。22) 「覚えておくためには、私たちはただ写真をため込むのではなく、それらを見て、それらとふれ合わなければならないのです」

- 19) ・ so that they're able to look at them later は、「…できるように」の意味で目的を表す so that S can [be able to] do を用いた形。  
20) ・ reviewing the photos we've taken が主語になっている。we've taken は the photos を修飾する関係詞節。  
21) ・ 下線部(7)については、【設問別解説】参照。  
・ has suggested の目的語である that 節中は、the sheer volume and lack of organization of digital photos for personal memories が S, discourages が V, many people が O である。  
・ sheer volume と lack of organization が and によって並列されており、その両方に of digital photos ... が後続している。sheer は「こんなにも」のような意味で数量・程度などを強調する形容詞。sheer volume and lack of organization of ... は「…が大量

- argue that ... 「…と主張する」
- review O 「O を見直す」
- volume 「分量」
- lack 「不足、欠如」
- organization 「組織(化)、整然としていること」
- personal 「個人の」
- reminisce about A 「A の追憶にふける」
- interact with A 「A と交流する」
- amass O 「O を集める、蓄積する」

にあり、しかもそれが整理されていないこと」を表す。

- ・discourages many people from accessing and reminiscing about them は discourage O from *doing* 「Oに…する気をなくさせる」を用いた形。accessing と reminiscing about が and によって並列されており、その両方に them が後続している。
  - ・access O は「O(情報など)にアクセスする、Oに接近する」の意味だが、ここではコンピュータに保存された画像を呼び出して見ることを表している。
- 22) ・access と interact with が and によって並列されており、その両方に the photos が後続している。
- ・access and interact with the photos, rather than just amass them は A(,) rather than B 「BよりもむしろA」を用いた形。

### 【設問別解説】

#### 問1 空所補充選択問題 ★★★

空所(1)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) compare pictures and exhibits
- (イ) take clear pictures
- (ウ) **put their cameras down**
- (エ) purchase expensive cameras

- (ア) 写真と展示品を比べる
- (イ) 明瞭な写真を撮る
- (ウ) **写真を撮るのをやめる**
- (エ) 高価なカメラを購入する

#### 【ポイント】 while S might seem ... の表現に注目！

空所(1)を含む第2)文は「写真を撮るというのはその瞬間を保存するよい方法であるように思えるかもしれないが、新しい研究によれば、博物館に行く人は( )方がいいかもしれないということだ」の意味である。while S might seem ... は「Sは…のように思えるかもしれないが」の意味で「譲歩」を表す表現である。したがってここでは、while 節での写真を撮ることを奨励するような内容に対し、主節では逆に写真を撮ることを控えるべきであるというような主張が述べられていると考えることができる。したがって、(ウ)が正解となる。put O down / put down O は「Oを下に置く、降ろす」の意味であり、「カメラを降ろす」とはつまり「写真を撮るのをやめる」ということである。

▶ 先へ読み進めていくと、この文章前半では「物を写

真に撮ることで、その物に対する記憶が保持されなくなる」という実験結果について述べられている。このことから、物の写真を撮ることにに対して否定的な内容を述べていると考えることができる。

#### 問2 下線部内容説明問題 ★★★

下線部(2) The findings の内容を、本文に即して、句読点を含めて50字以内の日本語で書け。

#### 【ポイント】 実験の結果わかったことは？

ここでの The findings 「結果」とは、直前の第3)文に述べられている、リンダ・ヘンケルが行った a new study の結果わかったことである。したがって、彼女が提示したデータが示している内容である participants had worse memories for objects, and for specific object details, when they took photos of them の部分をまとめ、「ある物やその特定の細部を写真に撮ると、それらに関する記憶が正確に保持されなくなってしまうという結果。」のようにまとめればよい。

#### 問3 下線部和訳問題 ★★★

下線部(3) This led her to wonder about the extent to which capturing events in our lives with a camera shapes what we later remember. を和訳せよ。

#### 【ポイント】

- ・ the extent to which S V ... の訳出
- ・ 関係詞節内の構造は？

訳出上のポイントは以下の通り。

- ・主語である This は直前の第6)文でヘンケルが語っていることの内容を指しているが、ここでは「このこと」と訳せばよい。
- ・led her to wonder は lead O to do 「Oに…するようにさせる、する気にさせる」を用いた表現。
- ・wonder about A で「Aについて思いをめぐらす」の意味。
- ・the extent to which S V... は「どの程度まで…するか」と処理すればよい。これは to ... extent 「…の程度まで」の表現をもとに、先行詞 the extent を to which S V... が修飾した形で、直訳的には「…する、その程度」ということ。

[例] I realized the extent to which his death had changed my life.

(私は彼の死がどれほど私の人生を変えてしまったかを悟った)

- ・関係詞節内は capturing events in our lives with a camera が S, shapes が V, what we later remember が O という構造になっている。主語である capturing events in our lives with a camera は動名詞を用いた形で、with は「…を使って」の意味の前置詞。目的語である what we later remember は remember の目的語が関係代名詞 what になった形。直訳的に「人生における出来事をカメラでとらえることが、後になって私たちが覚えているものに影響を与える」としてもよいが、主語を副詞的に処理し、「人生における出来事をカメラでとらえることで、後になって私たちが覚えているものが影響を受ける」などとしてもよい。

以上より、「このことから彼女は、人生における出来事をカメラでとらえることで、後になって私たちが覚えているものがどの程度影響を受けるのだろうかと考えた」のように訳出できる。

#### 問4 空所補充選択問題 ☆☆☆

空所(4)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| (ア) Finally  | (イ) Furthermore     |
| (ウ) At first | (エ) On the contrary |
| (ア) ついに      | (イ) そのうえ            |
| (ウ) 最初は      | (エ) 反対に             |

【ポイント】  
直前の文との意味関係は？

第11)文と空所(4)を含む第12)文では、第4段落にお

ける実験の結果が述べられている。第11)文では participants were less accurate in recognizing the objects they had photographed compared to those they had only observed 「参加者たちは単に観察しただけの物の認識に比べ、写真を撮った物の認識には正確さを欠いていた」と述べていて、これは写真を撮ったことが記憶にマイナスの作用をもたらすという記述である。また第12)文では they weren't able to answer as many questions about the objects' visual details of those objects they had photographed 「彼らは、物の外見上の細かい点に関する質問において、写真を撮った物については、観察しただけの物についてほどは多くの質問に答えることができなかった」と述べていて、これも写真を撮ったことで記憶にもたらされるマイナスの作用である。したがって、先行する内容に同趣旨の情報を追加する働きをもつ(イ)の Furthermore が正解。

#### 問5 下線部内容説明問題 ★★★

下線部(5) an interesting twist の内容を、本文に即して、句読点を含めて80字以内の日本語で具体的に書け。

【ポイント】  
・「意外な展開」とはどのようなことか  
・コロンの働きに注目する

- ・名詞の twist は本来「ねじれ、ひねり」の意味で、転じて「(事態の)意外な展開」の意味となるが、ここでは「実験から得られた意外な結果」のことを表している。したがって、本問では、どのようなことが「意外な結果」だったのかを答えることになる。
- ・下線部直後のコロン(:)に注目する。コロンは、直前にある表現の具体的な内容を述べたり、直前の内容に対する理由を補足的に述べたりする場合などに用いられる記号である。したがって、下線部の具体的な内容はコロン以下に述べられていると考えることができる。
- ・コロン以下には「物の特定の細部をカメラで拡大して写真に撮ることで、拡大した部分だけでなく、写真の枠から外れた部分についてまでその物の記憶を保持できたようなのだ」と述べられており、これは本文前半に述べられている「物を写真に撮ることで、その物に対する記憶が保持されなくなる」という実験結果と一見矛盾するような意外な内容となっている。したがって、このことを an interesting

twist と言っていると考えるのは文脈的にも妥当と言える。

よって、解答としては、コロン以下の内容に下線部自体の意味を加え、「意外なことに、物の特定の細部をカメラで拡大して写真に撮ることで、その拡大した部分だけでなく、写真の枠から外れた部分の記憶まで保持できるらしいということ。」のようにまとめるとよい。

#### 問6 空所補充選択問題 ★☆☆

空所(6)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) under controlled conditions
  - (イ) when in the lab
  - (ウ) at the experimental stage
  - (エ) in everyday life
- (ア) コントロールされた状況下では  
(イ) 研究室にいるときには  
(ウ) 実験段階では  
(エ) 日常生活では

#### 【ポイント】 but による逆接関係に注目する

空所(6)を含む第18)文でのヘンケルの発言は「この研究は入念にコントロールされたものであり、参加者は特定の物を写真に撮り、他の物は撮らないように指示されていました。しかし( ), 人は自分にとって重要なもの、意義のあるもの、覚えておきたいものの写真を撮っているのです」の意味である。このことから、何を写真に撮るかあらかじめ決められている実験下の状況と異なり、自分が何を撮るかを主体的に選択しているのはどのような状況においてであるかを考えればよい。コントロールされた実験の状況と対極にあるのは、言うまでもなく「日常生活」における状況である。したがって、(エ)が正解となる。

#### 問7 下線部和訳問題 ★☆☆

下線部(7) it would, but only if we actually took the time to do it を和訳せよ。ただし、it would の内容を明らかにすること。

#### 【ポイント】

- ・ it would の内容は？
- ・ only if S V ... の訳出

訳出上のポイントは以下の通り。

・ it would は直前の第20)文を受けたものであり、it の内容と would 以下の省略部分を補って考えれば、reviewing the photos we've taken would help us to remember ということになる。would help は仮定法過去。したがって、この部分は「撮った写真を後で見返すことは記憶の助けになるだろう」と訳せばよい。

・ only if S V ... は「…の場合に限って、…という条件下でのみ」の意味。ここでは took the time to do it に仮定法過去が用いられていることから、実際には人々(筆者自身を含め)はそのようなことはしないだろうと筆者が考えていることがわかる。

▷ only if を if only と混同してはならない。< if only + 仮定法過去 [過去完了]> は「…でさえあれば [あったら] なあ」という願望を表す場合に用いる。

[例] If only I had more money!

(もっとお金がありさえすればなあ)

・ take the time to do は「…するのに時間をかける、時間をかけて…する」などと訳することができる。to do it は to review the photos we've taken のことだが、ここでは「そうする」と訳しておけばよい。

以上から「撮った写真を後で見返すことは記憶の助けになるだろうが、それは実際に時間をかけてそうすればということである」と訳出できる。

## ⑥ 英作文

### A 整序英作文

#### 【解答】

1. *I ( found this beach more attractive than any other ) place I've ever been to.*
2. *The audience ( remained seated until all of the lights were on ).*
3. *On the 7th July 2013 Andy Murray ( became the first British player to lift the Wimbledon trophy in ) 77 years.*
4. *The doctors all agreed that she ( lacked the genetic markers associated with an increased risk ) of breast cancer and Alzheimer's.*

【配点】(16点)

各4点×4

#### 【解説】

##### 1. ★☆☆

#### 【ポイント】

- ・ find O C
- ・ 比較級+than any other A

「私は…よりこのビーチが魅力的だと思った」は、find O C「OをCと思う、OがCとわかる」、および<(形容詞・副詞の) 比較級+than …>「…より～」を用いて、I found this beach more attractive than …とする。また、「今まで行ったことのあるどの場所」は、「今まで行ったことのある他のどんな場所」と考え、any other place I've ever been toとする。以上から、I found this beach more attractive than any other place I've ever been to. という正しい語順が得られる。

▶ have been to Aで「Aに行ったことがある」の意味。

▷(×)I found this beach attractive more than any other place I've ever been to. は典型的な誤り。attractiveの比較級はmore attractiveであることに注意。

##### 2. ★☆☆

#### 【ポイント】

- ・ remain C
- ・ onの意味

「観客たちは(…)席についたままだった」は、remain C「Cのままである」のCの位置に過去分詞seated「席について(いる)」を入れて、The audience remained seatedと表現する。「照明がすべて点灯するまで」は、until S V「…するまで」と<S+be動

詞+on>「S(電気・ガス・ラジオなど)が通じている、ついている」を用いて、until all of the lights were on と表現する。以上から、The audience remained seated until all of the lights were on. という正しい語順が得られる。

▶ 動詞seatは「着席させる」の意味。「着席する」は、seat oneself またはbe seatedで表す。

【例】My lawyer seated himself beside me.  
(弁護士は私の隣に着席した)

【例】Dinner began and we were all seated nervously around the table.

(晚餐が始まり、私たちは皆そわそわしながらテーブルを囲んで座っていた)

▷ The audience were seated until all of the lights remained on. としないよう注意。The audience were seatedは正しい表現だが、until all of the lights remained on とすると「照明がすべて点灯したままであるまで」というごちない表現になり、設問文の日本語に合わない。

##### 3. ★☆☆

#### 【ポイント】

- ・ the first A to do
- ・ the first A in B

「アンディ・マリーは英国人選手として(77年ぶりに)ウィンブルドンのトロフィーを頭上にかざした」は、与えられた語句からbecome C「Cになる」の過去形とthe first A to do「…した最初のA」という表現を用いると想定できるので、「アンディ・マリーは…ウィンブルドンのトロフィーを持ち上げた最初の英国人になった」と考え、Andy Murray became the first British player to lift the Wimbledon trophy とする。

次に「77年ぶりに…した」は、「77年間で…する初めてのAとなった」と読みかえて表すことができる。

よって、the first A in B「B(という期間)の中で最初のA」を用いて表せばよいと考え、Andy Murray became the first British player to lift the Wimbledon trophy in 77 yearsを加えると、「アンディ・マリーは77年の中でウィンブルドンのトロフィーを持ち上げた最初の英国人になった」となり、与えられた日本文の文意を表す英文となる。以上から、On the 7th July 2013 Andy Murray became the first British player to lift the Wimbledon trophy in 77 years. という正しい語順が得られる。

▶「…ぶりに」を表す時によく用いられる表現である、S V ... for the first time in A「A(期間)ぶりに…する」の例文も挙げておく。

[例] He attended class for the first time in two months.

(彼は2ヶ月ぶりに授業に出席した)

▶ちなみに2013年から77年さかのぼる1936年にウィンブルドン選手権を制したイギリス人選手は、現在服飾ブランドにもその名を残しているフレッド・ペリー (Fred Perry) である。昨年の大会で、アンディ・マリーは地元イギリスの大きな期待を背負って決勝に進み、セルビア人選手ノバク・ジョコビッチを下して悲願を果たした。

#### 4. ★★★

**【ポイント】**

- ・ lack O
- ・ 過去分詞句 associated with A の後置修飾

「彼女には(…)遺伝子マーカーが見られない」は、lack O「Oを欠いている、Oがない」を用いて、she lacked the genetic markersとする。the genetic markersを修飾することになる「(乳がんやアルツハイマー病の危険が高い)と考えられる」は、associated with A「Aと結びつけて考えられる」を用い、これをgenetic markersの後ろに置く。最後に、「乳がんやアルツハイマー病の危険が高い」は、an increased A「増大したA、Aの増大」を用いて、an increased risk of breast cancer and Alzheimer'sとし、associated withの後ろに置く。以上から、The doctors all agreed that she lacked the genetic markers associated with an increased risk of breast cancer and Alzheimer's. という正しい語順が得られる。

▶ associate O with A「OをAと結びつけて考える、関係させる」は、受動態にするとbe associated with A「Aと結びつけて考えられる、関係する」

となるが、このassociated with Aを名詞修飾として用いたものが本問である。別の例を挙げておく。

[例] cases of lung cancer associated with smoking

(喫煙と関連があるとされる肺癌の症例)

▶ Alzheimer'sは Alzheimer's disease「アルツハイマー病」のこと。Basedow's disease「バセドウ病」や Parkinson's disease「パーキンソン病」など、病名に発見者の名前が冠されることが多い。

## B 条件英作文

### 【解答例】

1. *It* (took me less than 20 minutes to get here by subway).
2. *Had he* (told me the truth at that time, I would not have scolded my son so severely) *for being late*.

### 【配点】(14点)

1. 7点    2. 7点

### 【解説】

#### 1. ★★☆☆

【ポイント】  
 ・「A(人)が…するのに～(の時間)がかかる」の表現  
 ・「…もない」の表現

- ・「A(人)が…するのに～(の時間)がかかる」は <It takes+A+時間+to do ...> または <It takes+時間+for A to do ...> を用いて書くことができる。
- ・「(かかった時間が)20分もない」は「20分未満(の時間がかかった)」と考え、less than 20 minutes と表せばよい。
- ・この文では、文意から A は話し手である「私」であると考えられる。したがって、「(私が)…するのに20分もかかりませんでした」は (It) took me less than 20 minutes to ... / (It) took less than 20 minutes for me to ... と書けばよい。
- ・「ここに来る」は get here とするのが最もよいが、come (here) も可。
- ・「地下鉄で」は by subway, on the subway などとする。

▷(×) by the subway とするのは典型的な誤り。交通・通信などの手段を表す際に by を用いる場合、後続する名詞は無冠詞単数形を用いる。

【例】You can pay by credit card.

(お支払いはカードでできますよ)

#### 2. ★★☆☆

【ポイント】  
 ・仮定法過去完了  
 ・「…のことで～を叱る」の表現

・「…したら～しなかったのに」は仮定法過去完了を用いて If S had done ..., S would not have done ... で表すことができるが、本問では書き出しの指定から、If を省略した倒置形を用いることになる。し

たがって、全体の骨組みは Had S done ..., S would not have done ... となる。このような倒置の形については以下の【file】参照。

#### 【file】倒置による if の省略

if S were ... / if S had done ... / if S should ... という形では、それぞれ were / had / should を節の先頭に移動し、if を用いずに同じ内容を表すことができる。

【例1】If I were rich, I would buy that car.

→ **Were** I rich, I would buy that car.  
 (私が金持ちなら、あの車を買うのだが)

【例2】If he had come to the party, I would have seen him.

→ **Had** he come to the party, I would have seen him.  
 (彼がパーティーに来ていたら、彼に会っただろう)

【例3】If anyone should come, tell him I'm out.

→ **Should** anyone come, tell him I'm out.  
 (万一誰かが来たら、私は留守だと言ってください)

- ・「本当のことを言う」は tell O the truth を用いて表すことができる。ここでは O は話し手であると考えられるので me とする。「本当のこと」は「本当は何が起こったか」のように読み替えて what (had) really happened のようにしてもよい。
- ・「あの時」は at that time, then などを用いる。
- ・「A のことで O を叱る」は scold [criticize] O for A [doing] で表す。本問では文末の for being late が for doing にあたる。
- ・「あんなにきつく(息子を叱る)」は、(have scolded my son) so severely [harshly] のようにすればよい。



## C 本格英作文

### 【解答例】

While I was wondering what I should do about it, I heard the doorbell, and when I opened the door, I saw the elderly woman from next door smiling and holding my dog.

【別解】 I was wondering what to do about it, and then the doorbell rang. When I opened the door, the old lady who lives next door stood there smiling with my dog in her arms.

【配点】(15点)

### 【解説】

★★★

★【ポイント】★  
「どうしたものかと思っていたら」「嬉しそうな顔でうちの犬を抱いていた」などの表現を正確に表すことができるか？

#### ●「どうしたものかと思っていたら」

・「どうしたものか」とは、自分の飼っているチワワが勝手にお隣に行ってしまったことに関して、「どうしたらよいか」「何をするべきか」ということ。したがって what to do about it / what I should do about it などで表現するのがよい。(×) what to do with it は意味が異なるので不可。what to do with A / what S should do with A 「Aをどうするべきか」は、Aという「もの」に対しての処置に困惑した場合などに用いる表現。

【例】I've found a wallet. I wonder what to do with it.

(財布を拾ったのだけど、どうするのがよいだろうか)

・「…と思っていた」は I was wondering (what ...) で表すとよい。時制はチャイムが鳴ったのが思案中のことなので動作の進行中を表す過去進行形がもっとも好ましいが、過去形でも誤りではない。

・「(…と思っていた)ら」というつながりの表現には、接続詞の while や as を用いるか、節の後に and then などをつけて「すると…」のように表すとよい。

#### ●「チャイムが鳴り」

・ここでの「チャイムが鳴り」は休憩時間を知らせるチャイムではなく、「玄関の呼び鈴が鳴った」という意味なので the doorbell rang や I heard the doorbell (ring) と書くのがよい。doorbell は各戸

に1つずつ設置されているのが普通なので the [my] doorbell とする。(×) a doorbell とすると「私」の家には複数の doorbell がついていることになり奇異な感じを与える。また、問題文の「チャイム」をそのまま chime と訳すのはあまり好ましくない。英語の chime は美しい音を出す一組の鐘や、その音色・旋律を意味するのが一般的である。たとえば、多くの学校で聞かれる「キーンコーンコーン…」という鐘を用いた旋律はロンドンのウェストミンスター宮殿(国会議事堂)に付属する時計台(ビッグベン)が奏でるもので「ウェストミンスターの鐘 (Westminster Chime [Quarters])」と呼ばれており、英語における chime の好例である。ただし、玄関の呼び鈴で一連の旋律を奏でたりするものを chime と呼ぶこともあるので減点はしない。その場合は I heard the chime (of the doorbell) とする。chime を動詞として使って、I heard the doorbell chime のようにするのも誤りではない。

・「(…が鳴り)」という接続は and で表すこともできるが、【別解】にあるようにここで文を終わらせ、「ドアを開けると、…」から新しい文にする方法もある。

#### ●「ドアを開けると、お隣の老婦人が嬉しそうな顔でうちの犬を抱いていた」

・「ドアを開けると」は when I opened the (front) door とする。「私」のマンションの玄関なので the (front) door とすることが肝要。(×) when the door opened / when the door was opened は、「私」が手を触れていないのにドアが開くことを示唆するので不可。

・「お隣の老婦人」は the elderly woman (from) next door / the old lady who lives next door などとする。

・「嬉しそうな顔で」は「微笑んで」と解釈し smiling とすればよい。ただし、smiling を「老婦人」

の前に置いて (×) the smiling elderly woman とするのは不可。これでは「常に微笑んでいるその老婦人」の意味になってしまう。smiling は「お隣の老婦人」の補語や補足説明となるように表す。

- ・「うちの犬を抱いていた」は smiling と共通関係にし、and holding my dog と表すのがもっとも自然で簡潔。「抱く」はここでは「抱える」という動作なので hold が好ましく、愛情表現として抱きしめるという意味の (×) embrace や (×) hug は不可。これらの動詞は相手の背中に両手をまわして抱きしめるという動作を意味するので、ここでは望ましくない。動詞を用いずに表すなら、「両手で抱えて」という付帯状況の表現 with my dog in her arms などを用いればよい。

以上をまとめると、全体としてこの部分は When I opened the door, the elderly woman from next door was smiling and holding my dog. となる。また、When I opened the door, the elderly woman from next door stood there, smiling and holding my dog. / When I opened the door, I saw the elderly woman who lives next door smiling and holding my dog. のように、「そこに立っていた」や「…しているのが見えた」などの要素を加えるとさらに自然な英語になる。

#### 【全訳例】

I have a chihuahua in my apartment. One day, when I let my dog play on the veranda, she crawled under the partition between my next-door neighbor's place and mine. While I was wondering what I should do about it, I heard the doorbell, and when I opened the door, I saw the elderly woman from next door smiling and holding my dog. My dog visits the neighbor at the same time every morning now, and when she comes back through my front door, the woman and I greet each other, so it has turned out to be a good way of making sure we are both doing well.

受験直後の復習が大きな差を生む!!

## 自己採点シート

## 第2回 全統記述模試

クラス	番号	氏名

【シートの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」にしたがって自己採点してみましょう。  
②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとに比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の☆に色を塗りましょう。  
③色を塗った☆の設問番号を中心に具体的な補強策を考え「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。  
→さらに個人成績表の返却後、統計集についている「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう!!

総合計(第2回全統記述模試)

実際の得点

自己採点

成績表の返却後、得点を記入しましょう。

第2回全統記述模試  
得点

教科・科目	設問ごとの得点							合計	今後の課題と学習プラン	
	1	2	3	4	5	6	7			
英語	リスニング	中文空所補充 /15 ☆	文法・語法 /15 ☆	長文読解問題 /20 ☆	長文読解問題 /60 ☆	英作文 /45 ☆		/200		↑
	小問集合	三角比 /50 ☆	確率 /40 ☆	整数 /40 ☆				/200		↑
数学Ⅰ型	小問集合	微分法 /50 ☆	複素数と式 /50 ☆	図形と方程式 /50 ☆	整数 /50 ☆	数列 /50 ☆		/100		↑
	小問集合	微分法 /40 ☆	図形と方程式 /40 ☆	数列 /40 ☆	整数 /40 ☆	積分法 /40 ☆	式と曲線 /40 ☆	/200		↑
数学Ⅱ型	現代文	現代文 /60 ☆	古文 /40 ☆	漢文 /50 ☆	現代文 /50 ☆			/200		↑
	現代文	現代文 /40 ☆	古文 /40 ☆	漢文 /50 ☆	現代文 /50 ☆			/200		↑
現代文型	現代文	現代文 /60 ☆	古文 /40 ☆	漢文 /50 ☆	現代文 /50 ☆			/150		↑
	現代文	現代文 /40 ☆	古文 /40 ☆	漢文 /50 ☆	現代文 /50 ☆			/200		↑
現・古・漢型 現・古・漢型	力学	電気 /33 ☆	気体 /34 ☆					/200		↑
	物理							/100		↑

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

# 受験直後の復習が大きな差を生む!!

【シートの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」にしたがって自己採点してみよう。
- ②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとに比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の□に色を塗りましょう。
- ③色を塗った各設問番号を中心に具体的な補強策を考え「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。
- ④さらに個人成績表の返却後、統計集にしている「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう!!

教科・科目	2	3	4	5	6	7	合計	今後の課題と学習プラン	第2回全統記述模試 得点
化学	熱化学・無機 /30	脂防炭化合物 /25	電離平衡 /24	気体・蒸気圧 /21			/100		/100
生物	染色体と遺伝 /25	光合成 /25	発生 /25	免疫 /25			/100		/100
地学	地球の構造 /20	岩石・鉱物 /20	地質図 /20	日本の天気 /20	恒星 /20		/100		/100
世界史B	文化交流史 /24	スペイン史 /26	近世防衛経済 /26	中近世交戦史 /24			/100		/100
日本史B	古代経済史 /20	古代中世文化 /30	中世政治史 /30	近世経済史 /20			/100		/100
地理B	地形図の読図 /25	工業 /25	生活文化 /25	地誌 /25			/100		/100
政治・経済	日本国憲法 /20	日本経済 /20	国民所得 /20	国際政治 /20	国民生活 /20		/100		/100
倫理	東洋源流思想 /26	日本の思想 /26	西洋現代思想 /24	現代の社会 /24			/100		/100

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

キリトリ

キリトリ







## 学力アップ・志望校合格のための復習法

効率よく学力を伸ばすうえで、受験した模試を繰り返し復習することは非常に大切です。全統模試受験後には学習の手引き（解答・解説集）を読むだけでなく、下記のアイテムを積極的に活用して学力アップ・志望校合格につなげましょう。

### STEP 1 模試受験後

#### 【学習の手引き】

解答・解説をしっかりと読み、自己採点シート（巻末掲載）で克服・補強すべき分野を明確にしましょう。

### STEP 2 成績資料返却後

#### 【個人成績表】

現在の自分の学力状況を確認し、弱点分野については学習アドバイスを参考に今後の学習に活かしましょう。

#### 【ANTENNA（生徒用成績統計資料）】

個人成績表の見方や各データの確認とあわせて、見直しシートや学習対策（教科科目別）も利用しましょう。

##### ・見直しシート

今回の反省点とこれからの課題をチェックし、今後の対策を立てましょう。

##### ・学習対策（教科科目別）

総評・設問別講評・学習アドバイスなどを読み、復習のポイントをつかみましょう。

#### 【解説講義】

とくに押さえておきたい問題を河合塾講師が解説します。詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/kougi.html>

※Kei-Net 会員の登録（無料）が必要です。

### STEP 3 長期休み中や入試直前期

STEP 1・2 に再度必ず取り組み、確実な学力向上につなげましょう。